



糸取物語

wave

1本針3本糸
オーバーロック／巻きウェーブブロック



……ご使用のてびき……

このたびはベビーロックをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。

目次

■ 安全にご使用いただくために	1	8 糸かけ	13
■ このロックミシンについて	2	糸かけ全体図／ルーパーの糸かけの準備(はずみ車の固定)／ルーパーの糸かけが終わったら／下ルーパー糸／上ルーパー糸／針糸／太糸のかけ方	
1 ご使用になる前に	3	9 オーバーロック・巻きロックへの切換え	19
2 各部の名称	4	1本針3本糸オーバーロック／巻きロック(標準巻きロック／変形巻きロック)	
3 縫うための準備	5	10 巻きウェーブブロックへの切換え	21
アンテナ・コントローラー・糸のセット(ベビーネット・駒受けの使い方)		巻きウェーブブロック	
4 試し縫い	7	11 メンテナンス	23
縫い始め／縫い終わり(空環の始末)		ルーパースレッダーの使い方／針の交換／メスの交換／掃除と注油について／照明ライトの交換／その他	
5 縫い目調節とメスの固定	9	12 基本的な縫いテクニック	25
かがり幅・送り目の調節／メスの固定／押え圧力の調整		外角を縫う／内角を縫う／カーブを縫う／縫い目のほどこ方	
6 差動送り	11	13 修理を依頼される前に	26
7 押え金	12	■ 仕様	
押え金の取り付け方・取りはずし方／パルキー押えの使い方			

安全にご使用いただくために

ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。
このミシンは、日本国内向け・家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY

▲ 警告 → 感電、火災の恐れがあります。

- ◇一般家庭用の100V電源をご使用ください。
- ◇使用後やミシンから離れるとき、また停電したときは必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください。



▲ 注意 → 感電、火災、ケガの原因となります。



- ◆コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。



- ◆お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用される場合は、安全に対し十分に注意を払ってください。



- ◆以下の場所でのご使用および保管はなさないでください。
 - ・強力なスポットライトや熱器具のそば、直射日光の当たる場所
 - ・スプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所 ・高い場所
 - ・お子様の手の届く場所 ・湿気の多い押し入れ等の中※ミシンの使用温度は0℃～40℃です。

- ◆ミシンは半年に一回程度、理想的には3ヶ月に一回は動かして下さい。長期間使用しなかったために不具合が生じた場合は、販売店でのメンテナンスをお勧めします。

- ◆ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがかからないようにしてください。



- ◆以下のときは、必ず電源を切ってください。
 - ・メスの交換をするとき
 - ・針糸やルーパー糸をセットするとき
 - ・押え金を交換するとき
 - ・針を交換するとき
 - ・ランプの交換をするとき※ランプの交換は、ガラス部分が冷めてから行ってください。

- ◆ミシン本体やコントローラー、電源コードの分解・改造等はいししないでください。
- ◆電源コードの接続に、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
- ◆電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- ◆ミシン本体の換気穴をふさがないでください。
- ◆ミシン内部にドライバーや異物を入れないでください。また糸くずやホコリがたまらないようにしてください。
- ◆以下のときはミシンのご使用を中止し、お近くの販売店にご相談ください。
 - ・電源コードまたは電源プラグが破損、劣化したとき
 - ・落下などにより破損したとき
 - ・ミシンが濡れたとき
 - ・異常な臭いや音がするとき
 - ・正常に作動しないとき
- ◆操作中は針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天秤、ルーパーなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
- ◆ミシンには正規の部品をご使用ください。また曲がった針や破損している針はご使用にならないでください。
- ◆縫製中に布を無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。
- ◆ミシンを移動するときは、把手を持って行ってください。
- ◆操作時は、ミシン本体のカバー類(メスカバー等)はすべて閉じてください。
- ◆縫製中は自動針糸通しレバーを絶対に下げないでください。

このロックミシンについて

このロックミシンは世界初の巻きウェーブロックをはじめ、ジャストフィットシステム(自動糸調子)、エアスルーシステム(自動エア糸通し)など便利な機能が装備されています。それらの機能をご活用いただき、下記以外にも工夫次第でいろいろな縫い方ができますので、想像力をフルに活用してあなただけのオリジナル作品に挑戦してみてください。

縫い方の色々

■基本的な縫い



普通ロック (P19参照)
(1本針3本糸)
縁かがりとして。



巻きロック (P20参照)
変形巻きロックと標準巻きロックがあります。オーガジーなど薄物の縁かがりに最適。フリルやコサージュ作りには欠かせません。巻きロックでも縫い合わせができます。



巻きウェーブロック (P21参照)
独自の機構により、巻きロックの縫い目に波状模様を演出。ラメ糸やウーリー糸、飾り糸、その他さまざまな糸を使うことによって、豊かな表情が加わります。

■その他の飾り縫い



ピンクタック
ブラウス等の飾りとして



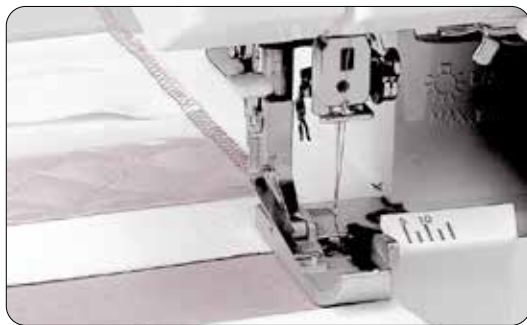
からかん
空環ブレード
ひもに空環を絡ませて、飾りにします。

etc.

このロックミシンの主な特長

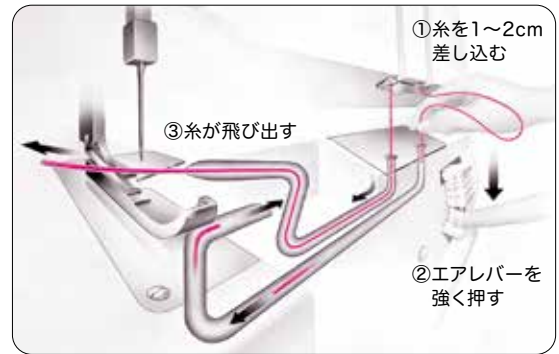
ジャストフィットシステム(自動糸調子)

3本の糸のちょうどいい張り具合を、ミシンが自動で合わせてくれます。生地の種類や厚さが途中で変わっても、ノータッチで美しく仕上げます。



エアスルーシステム(自動エア糸通し)

いままでのロックミシンの最大の難点は糸通しの複雑さにありました。ところがこのミシンは、空気を使って上ルーパー糸・下ルーパー糸を素早く通すことができます。(P14参照)



ラクスルー(自動針糸通し)

レバー操作で簡単に、小さな針穴に糸を通すことができます。(P17参照)



かがり幅ダイヤル

かがり幅(縫い幅)の変更はこのダイヤルを回して行います。3.0mm~5.0mm (P9参照)



送り目ダイヤル

送り目(縫い目長さ)の変更はダイヤルを回すだけでできます。(P9参照)



縫い目切換ダイヤル

4種類の基本縫いをダイヤル操作だけで簡単に選択できます。(P19~22参照)



メス固定ツマミ

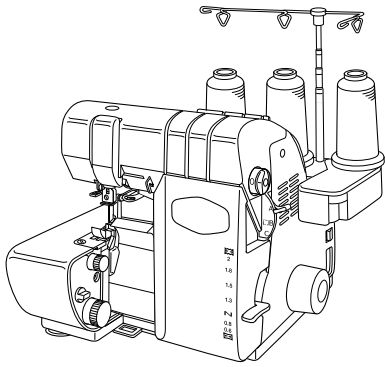
このツマミをクルッと回すとメスが動かなくなります。ピンクタックなど生地を切らないで縫いたい時とても便利。(P10参照)



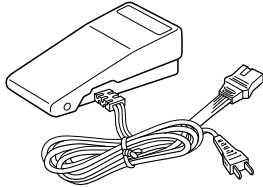
1

ご使用になる前に

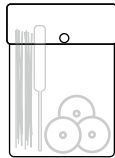
■下記のものが入っていることを必ずご確認ください。



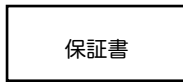
ミシン本体



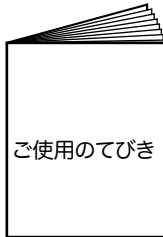
コントローラー



アクセサリケース

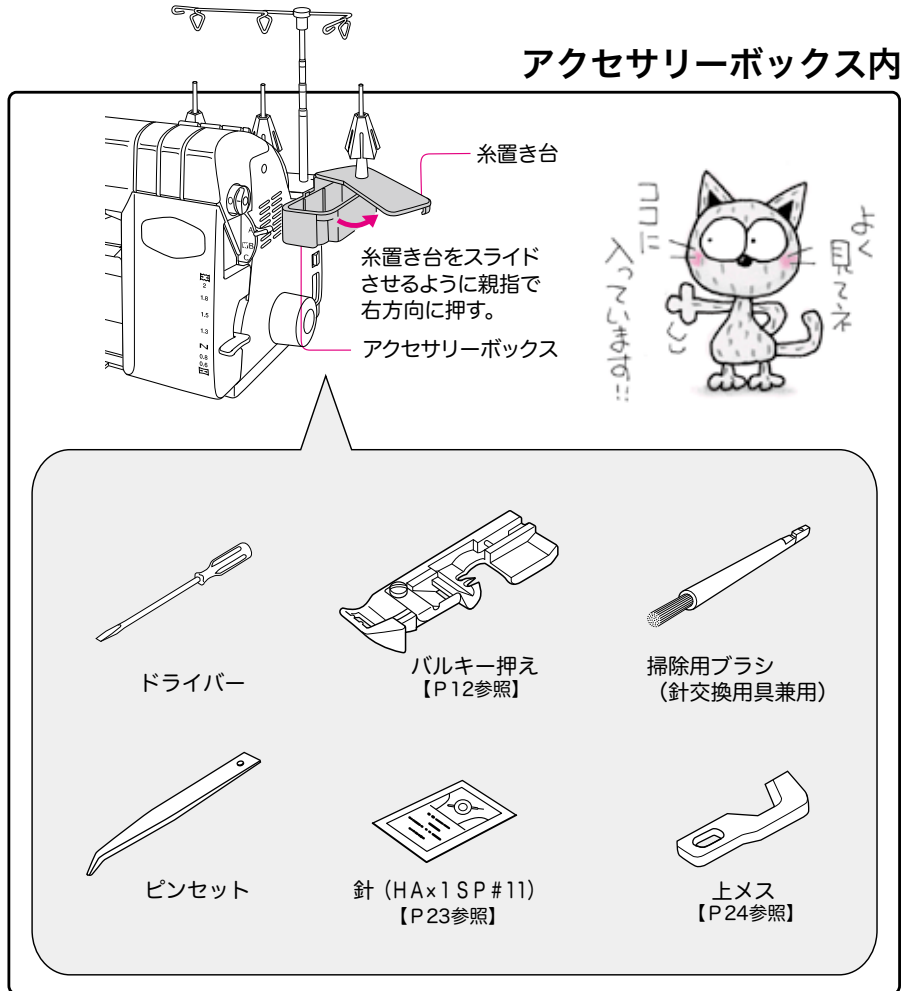


保証書

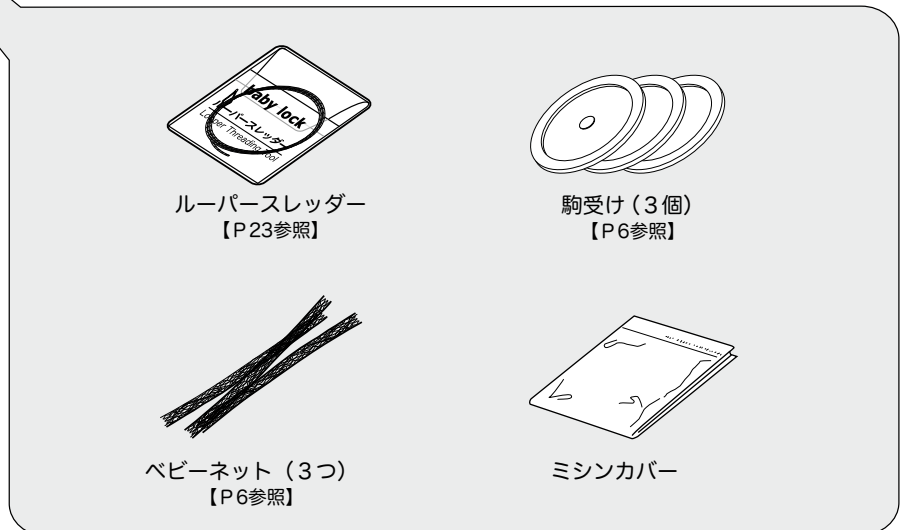


ご使用のてびき

アクセサリボックス内



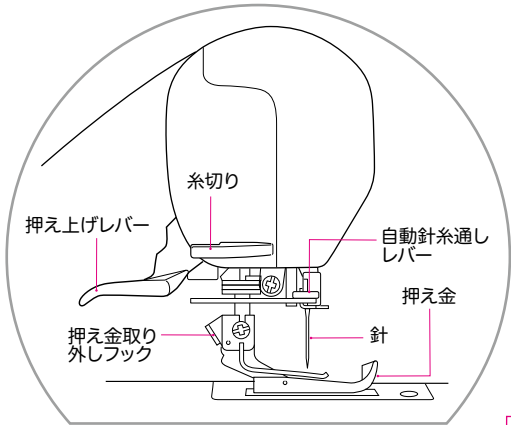
アクセサリケース内



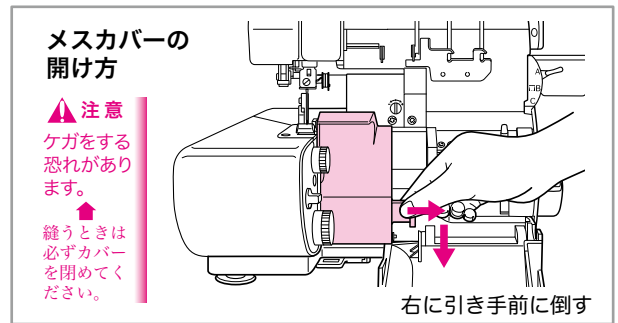
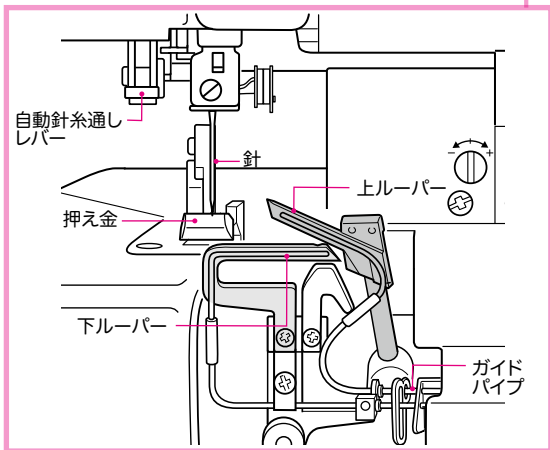
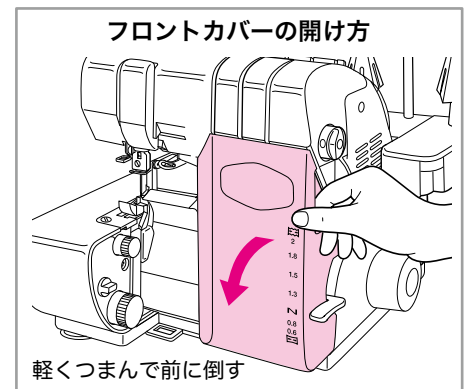
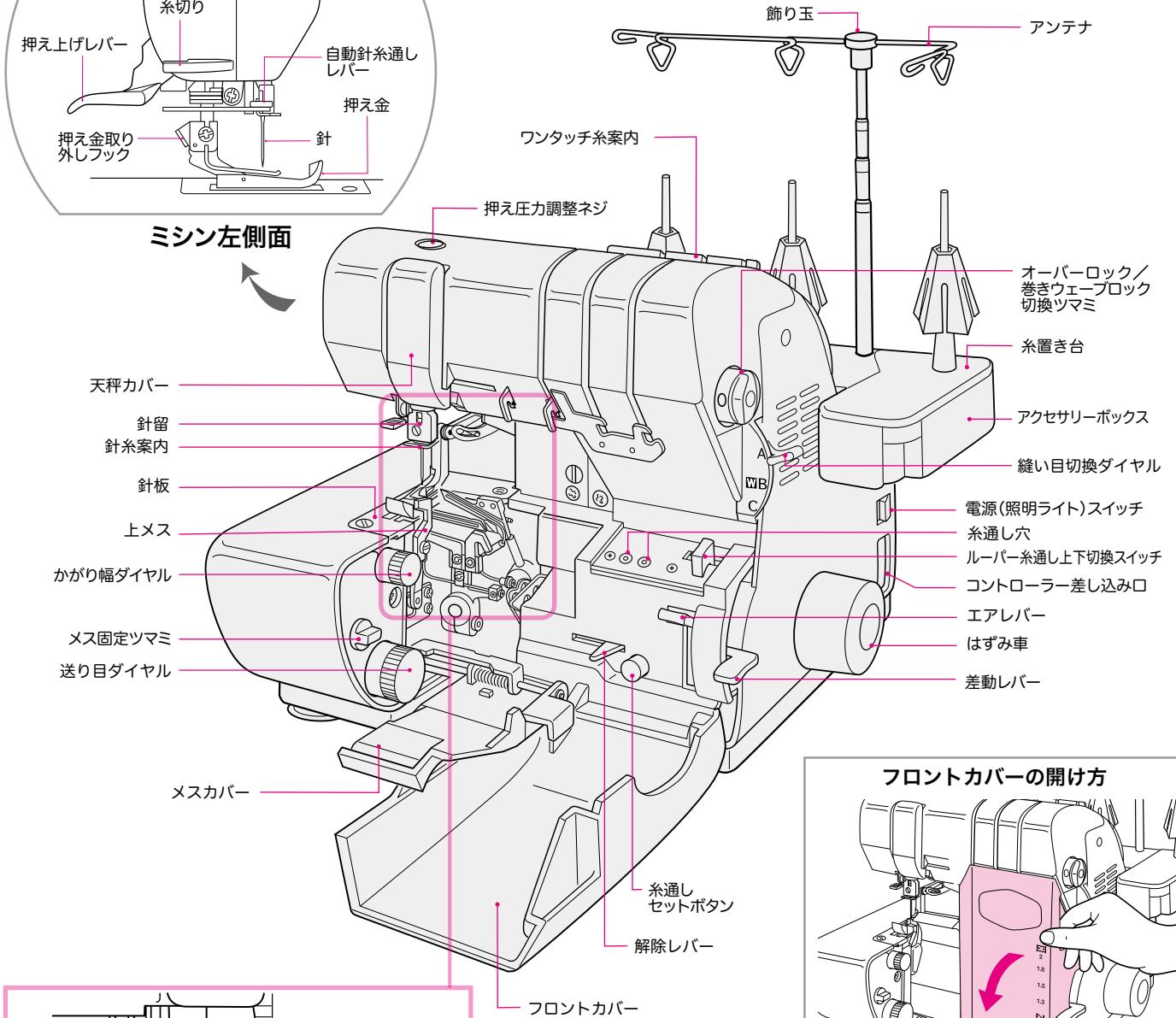
2 各部の名称



各部の名称



ミシン左側面



メスカバーの開け方

▲注意
ケガをする恐れがあります。

↑
縫うときは必ずカバーを閉めてください。



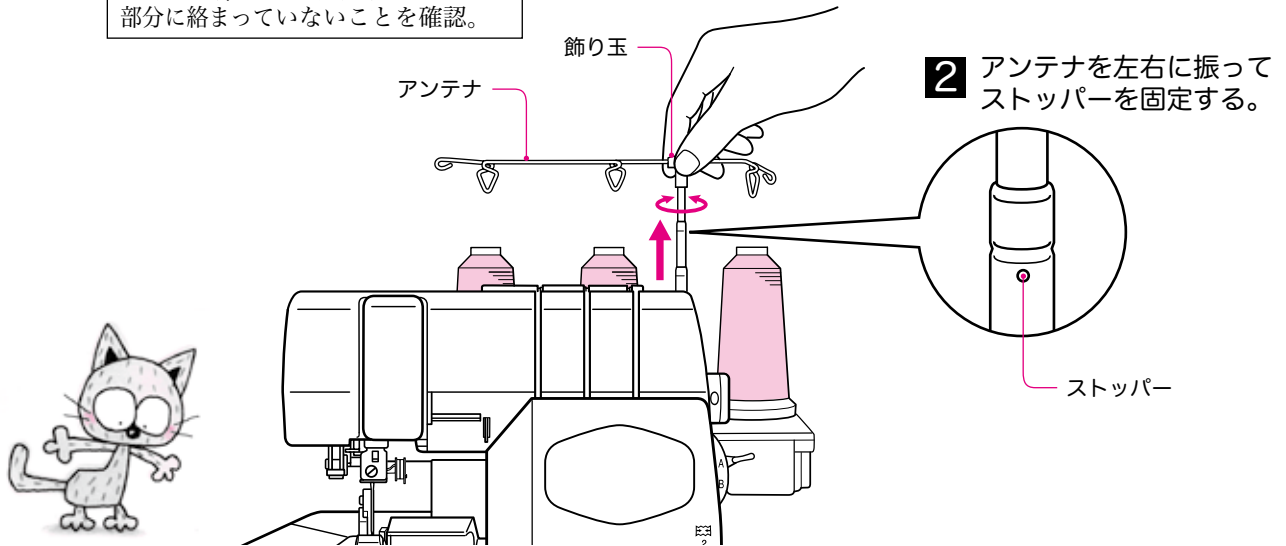
3 縫うための準備

アンテナのセット

1 飾り玉を持って真上に引き伸ばす。

注 アンテナは必ず一番上まで引き伸ばして下さい。

このとき糸がアンテナやその他の部分に絡まっていないことを確認。

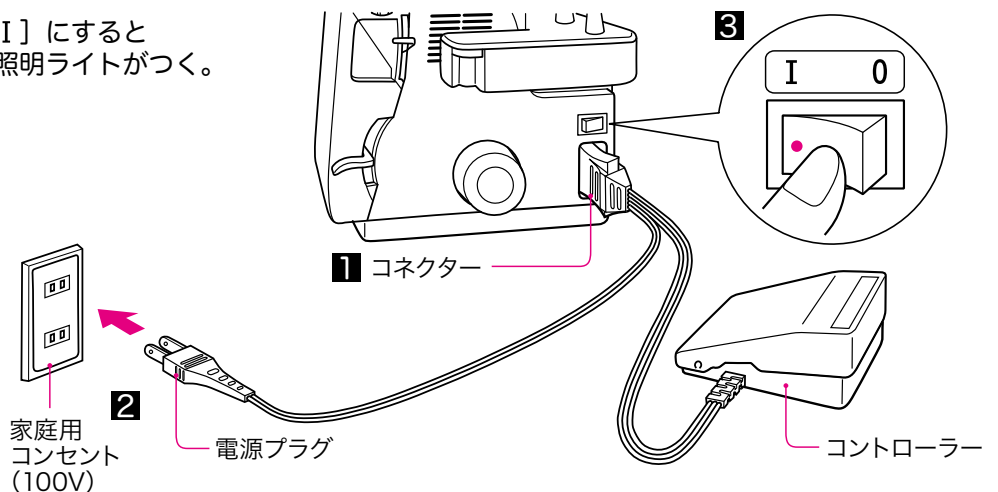


コントローラーのセット

1 コントローラーのコネクターをミシン本体に差し込む。

2 電源プラグを家庭のコンセントに差し込む。

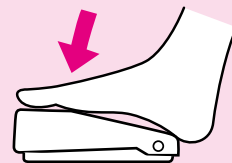
3 電源スイッチを [I] にすると通電状態となり、照明ライトがつく。



注意

火事の原因になります。

- ◆ プラグをコンセントに長時間差し込んだままにしないでください。
- ◆ コントローラーの上に物を乗せないでください。



スピードの調節

強く踏むと早く、弱く踏むと遅くなります。



糸のセット

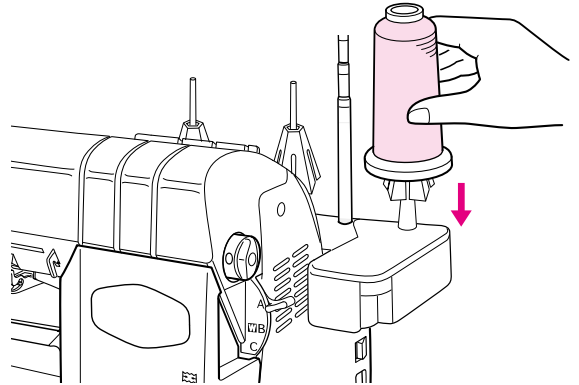
□使用する糸について

ルーパー糸には、テトロン糸、スパン糸、ウーリー糸、飾り糸、金糸、極細毛糸など、糸道のパイプに無理なく入る糸であれば、市販されているほとんどの糸を使用することができます。

針糸には、通常スパン糸が使用されます。

また普通ミシンと違い、伸縮性のあるニット地等を縫う場合でも、水着やレオタードなどの特別な場合を除き、レジロン等の伸縮性のある糸を使う必要はありません。

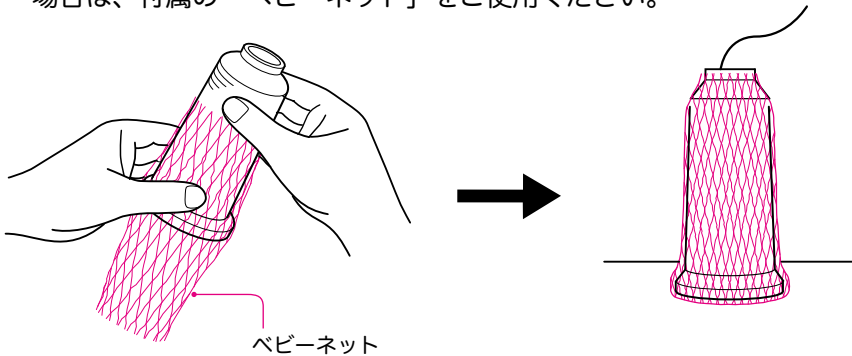
※古い糸や粗悪な糸を使用すると、糸切れや目飛び、糸調子の乱れの原因になりますので、使用しないでください。



縫うための準備

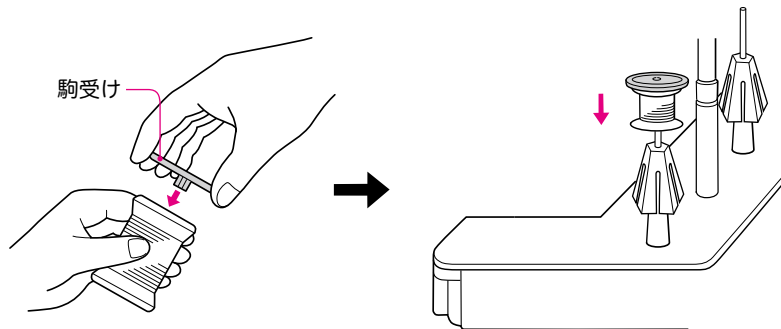
■ベビーネットの使い方

化繊糸などのすべりやすい糸やウーリー糸、撚りの強い糸を使用する場合は、付属の「ベビーネット」をご使用ください。



■駒受けの使い方

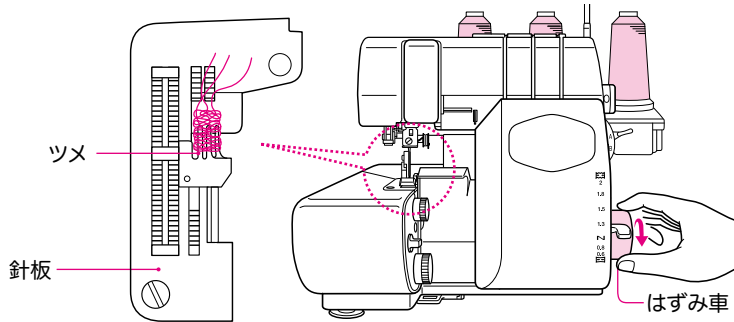
普通はロック糸を使用しますが、駒糸も使用できます。その場合は付属の「駒受け」をご使用ください。



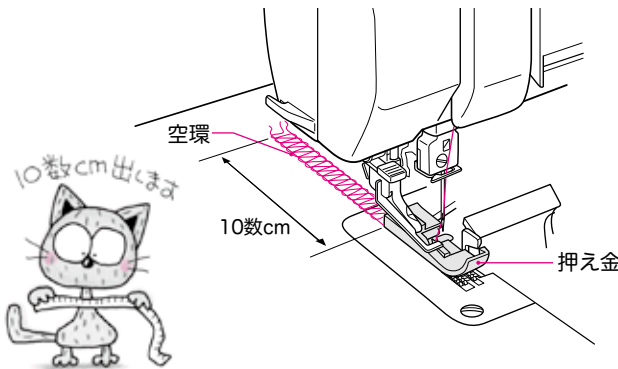
4 試し縫い

縫い始め

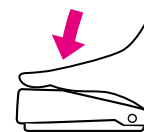
1 「はずみ車」を手前方向に手で数回まわし、針板のツメに糸がからんでいることを確認する。



2 押え金が下りていることを確認し、コントローラーを軽く踏んで「空環」を約10数cm出しておく。



スピードの調節



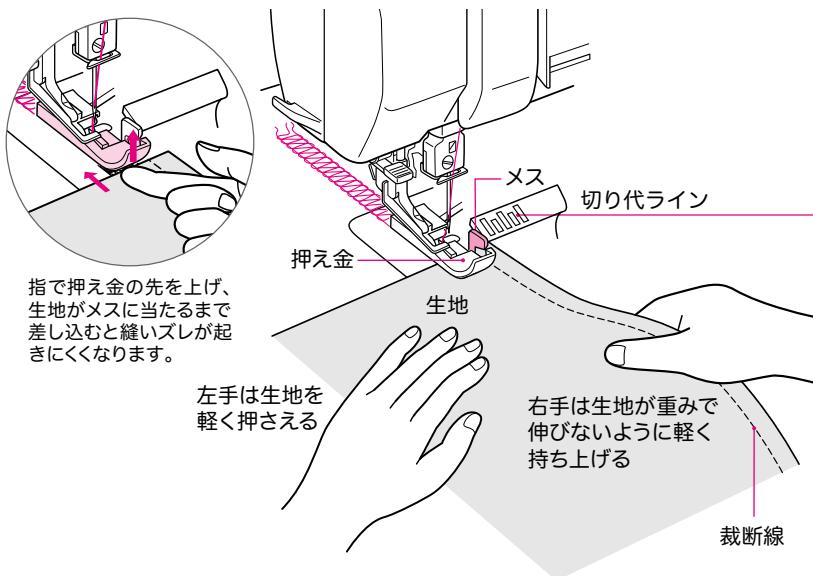
強く踏むと早く、弱く踏むと遅くなります。

注意 ケガをする恐れがあります。

針・ルーバー・メスの動く範囲に、指や手を持っていかないで下さい。

3 メスに裁断線を合わせて生地を置く。

このとき押え金を上げる必要はありません。縫い始めると、生地は押え金の下へ自然と入っていきます。



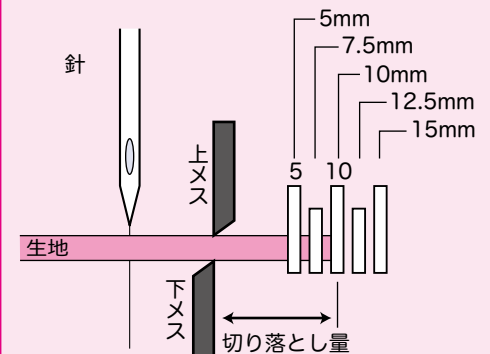
指で押え金の先を上げ、生地がメスに当たるまで差し込むと縫いずれが起きにくくなります。

左手は生地を軽く押さえる

右手は生地が重みで伸びないように軽く持ち上げる

切り代ラインの使い方

切り代ラインはメスで切り落とす生地量の目安です。生地端を5の線に合わせて約5mm切り落とし、10の線に合わせて約10mm切り落とします。



切り代ラインは目安ですので、正確を要する場合は試し切りを行い、確認してから縫い始めてください。

4 コントローラーを踏んで縫い始める。

ワンポイント

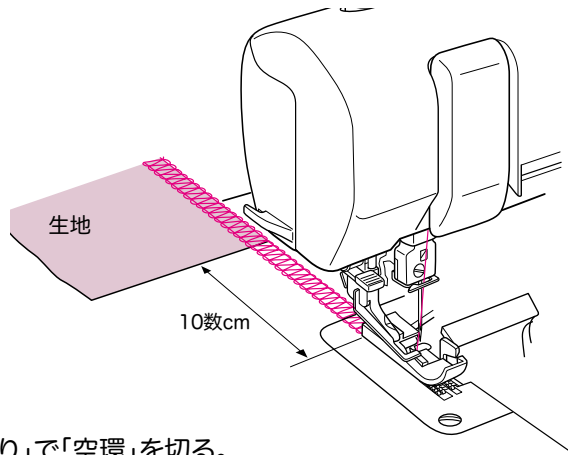
まち針が刺さったまま気づかず縫い進めるとメスの切れ味が悪くなったり、まち針が折れて危険です。布の仮止めにはソーイングクリップをお勧めします。

カーブやパイアスを縫うときに生地がはずれやすい場合は、P25「カーブを縫う時のポイント」を参考にしてください。

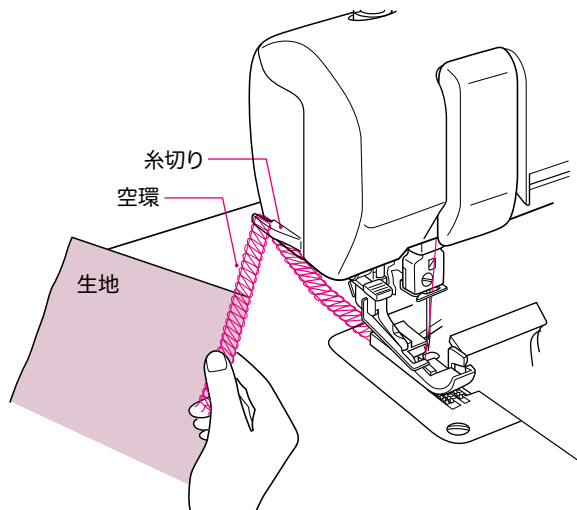


縫い終わり

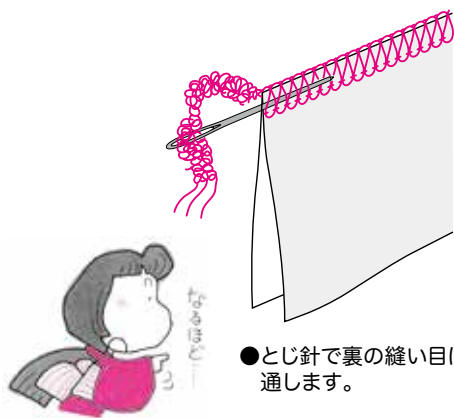
1 生地を縫い終わったら、そのまま空縫いをし、「空環」を約10数cm出しておく。



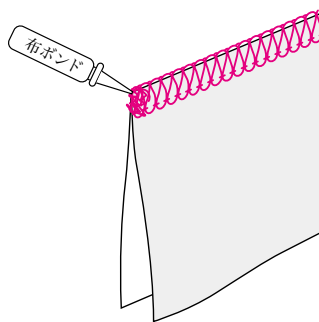
2 最後に「糸切り」で「空環」を切る。



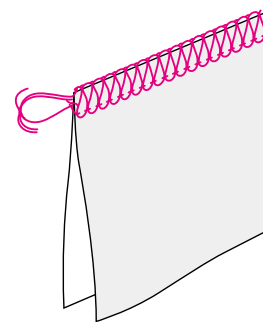
「空環」の始末 縫い終わった後の「空環」の始末には下記のような方法があります。



●とじ針で裏の縫い目に通します。

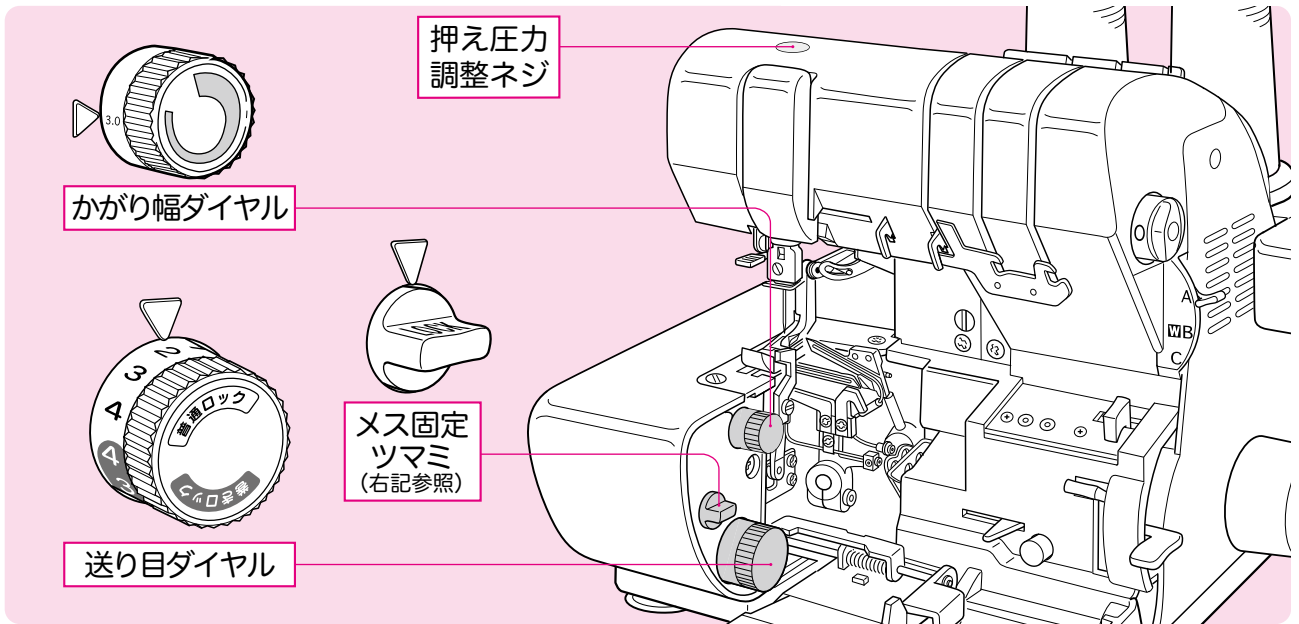


●「空環」を布端で切って布ボンドで固めます。

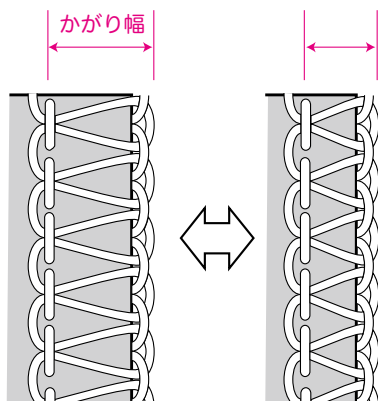


●「空環」の糸をほぐして結びます。

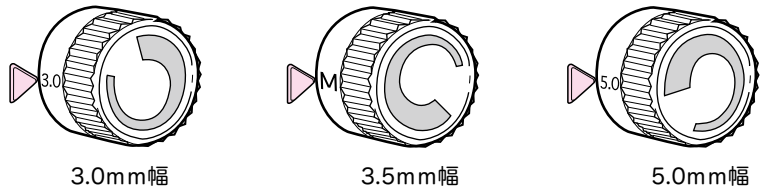
5 縫い目調節とメスの固定



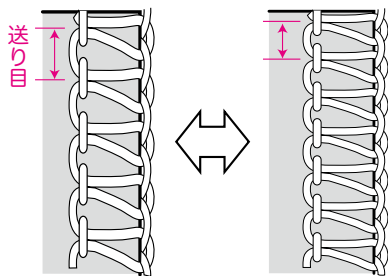
かがり幅の調節



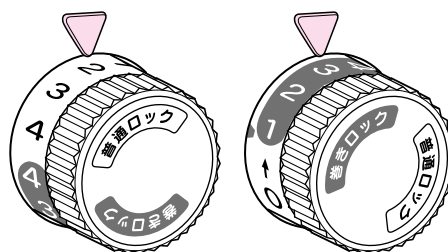
普通ロックは、3.0mm～5.0mmの範囲で調節できます。
 巻きロックは、基本的には標準値のMに合わせます。
 ※巻きウェーブロックの場合も同様です。



送り目の調節

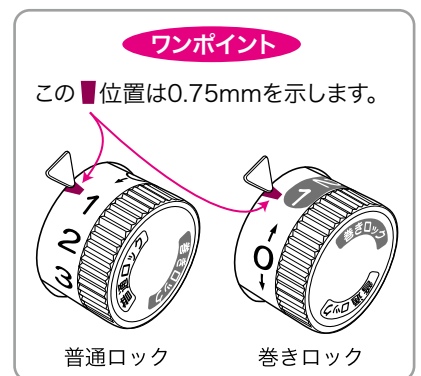


「送り目ダイヤル」を回して、普通ロック・巻きロックともに0.75～4mmの範囲で調節できます。



普通ロック側

巻きロック側



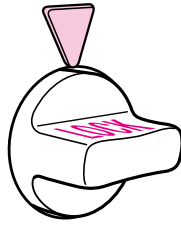
普通ロック

巻きロック



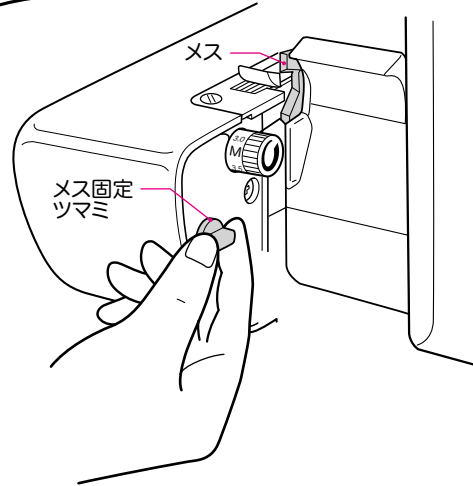
メスの固定

ピンタックや飾りステッチなど、メスで布地を切らないで縫う場合は、メス固定つまみを【LOCK】側に回してください。メスが動かなくなります。



初心者にお勧め! — ★メスを使わないで縫う

厚地を縫う場合や何枚も重ねて縫う場合は、仕上り線まで裁っておいてから、メスを使わずに縫うとスムーズに縫うことができます。
また失敗したときでも、切っていないので、もう一度ほどこいてやり直すことができ安心です。
(糸のほどこき方はP25参照)

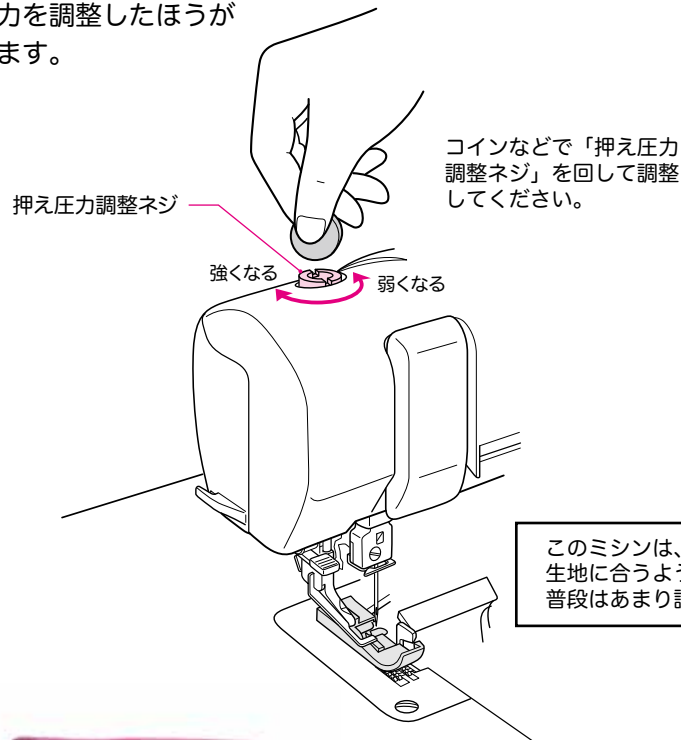


ワンポイント
固定されたメスは、そのまま布ガイドとして使用できます。



押え圧力の調整

滑りやすい生地や厚い生地を何枚も重ねて縫う場合など、押え圧力を調整したほうが縫いやすい場合があります。

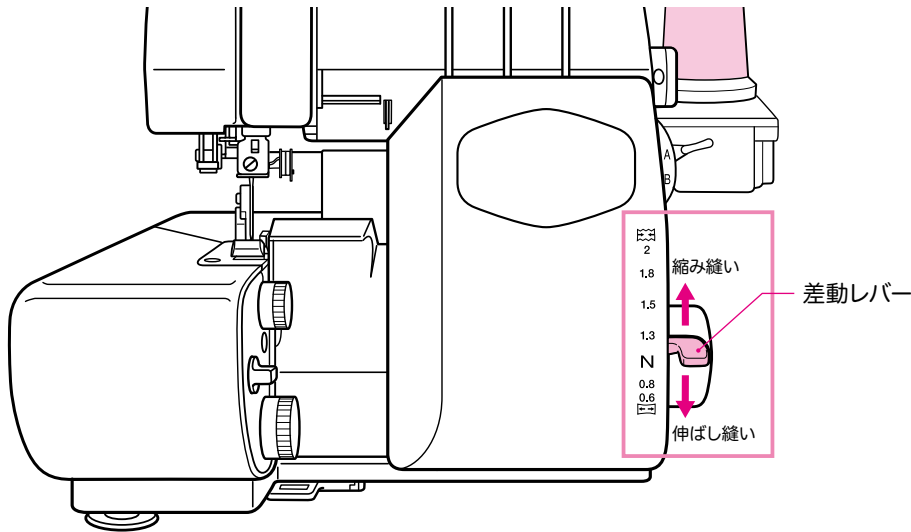


このミシンは、工場出荷時にほとんどの生地に合うように調整されていますので普段はあまり調整する必要はありません。



6 差動送り

伸びやすいニットやジャージー、トリコットなどの生地や、逆に裏地のような縮みやすい生地を縫う場合は「差動レバー」を使うと、平にきれいに仕上げることができます。さらにギャザーを寄せたり、フレアスカートへのムのいせ込みの際に使用すると、とても便利です。



	伸びやすい生地		縮みやすい生地
生地	ニット地、ジャージ、メリヤス、 その他バイヤス部分等	織布	ジョーゼット、サテン、 リネン、ローン等
差動レバー	N → 1.3 ~ 2	N	N → 0.8 ~ 0.6
差動送り使用前後の縫い目比較			

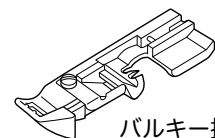
【ギャザーの寄せ方】

ギャザーを寄せながら縫うことができます。

- ・差動レバーを[2]にします。
※必要に応じて1.3~2の間で調整してください。
- ・送り目ダイヤルを[4]に合わせます。



付属の「バルキー押え」を使用するとさらに縮み量が大きくなります。(右ページ参照)



バルキー押え

7 押え金

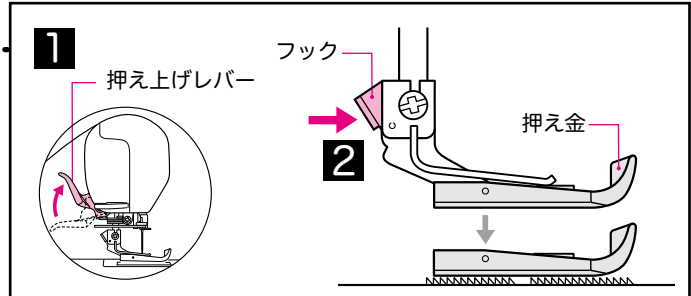


押え金の取り付け・取りはずし方

専用アタッチメント（各種押え金）を使用する場合の、押え金の取り付け・取りはずしは、下記の要領で行ってください。

【取りはずし方】

- 1 押え上げレバーで押え金を上げる。
- 2 フックを押すと押え金はずれる。



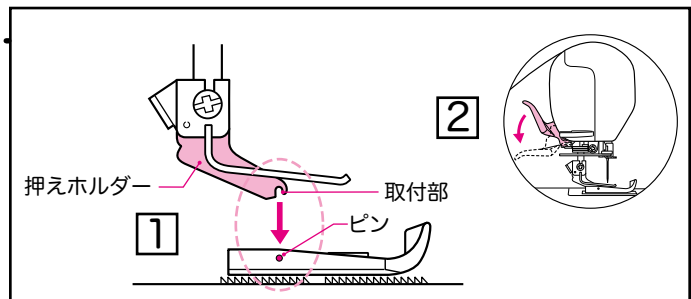
【取り付け方】

- 1 押えホルダーの取付部の真下に、押え金のピンがくるように置く。
- 2 押え上げレバーを下げる。



ワンポイント

押え金が入りにくい場合は、押え上げレバーをさげたままフックを押してください。

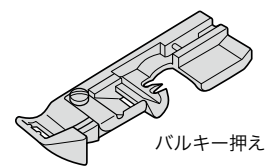


バルキー押えの使い方

- 付属の「バルキー押え」は、
- 差動を使って縮み縫いをするとき、縮み量をより多くしたいとき
 - 右のように、縁かがりと同時に、伸び止めテープ（ウーリースピンテープ）や各種テープを入れるときなどに使用します。
- テープの入れ方は下記の通り。

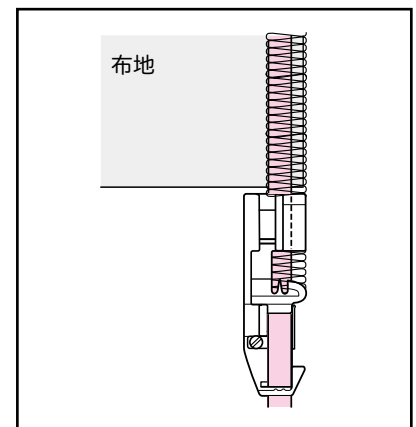
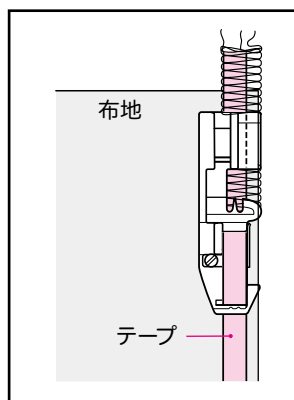
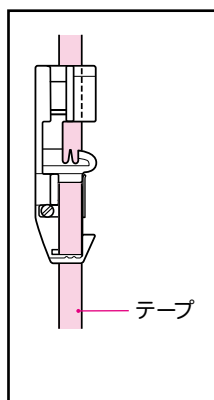


肩部分の合わせ縫いに最適



バルキー押え

- 1 バルキー押えにテープを通しておく。
- 2 針を一番上に上げ、上記の押え金の【取り付け方】を参照にして「バルキー押え」をミシンに取り付ける。
- 3 テープだけを先に数cm縫っておき、布地を入れて縫い始める。
- 4 縫い終わりもテープだけを数cm縫ってからミシンを止める。



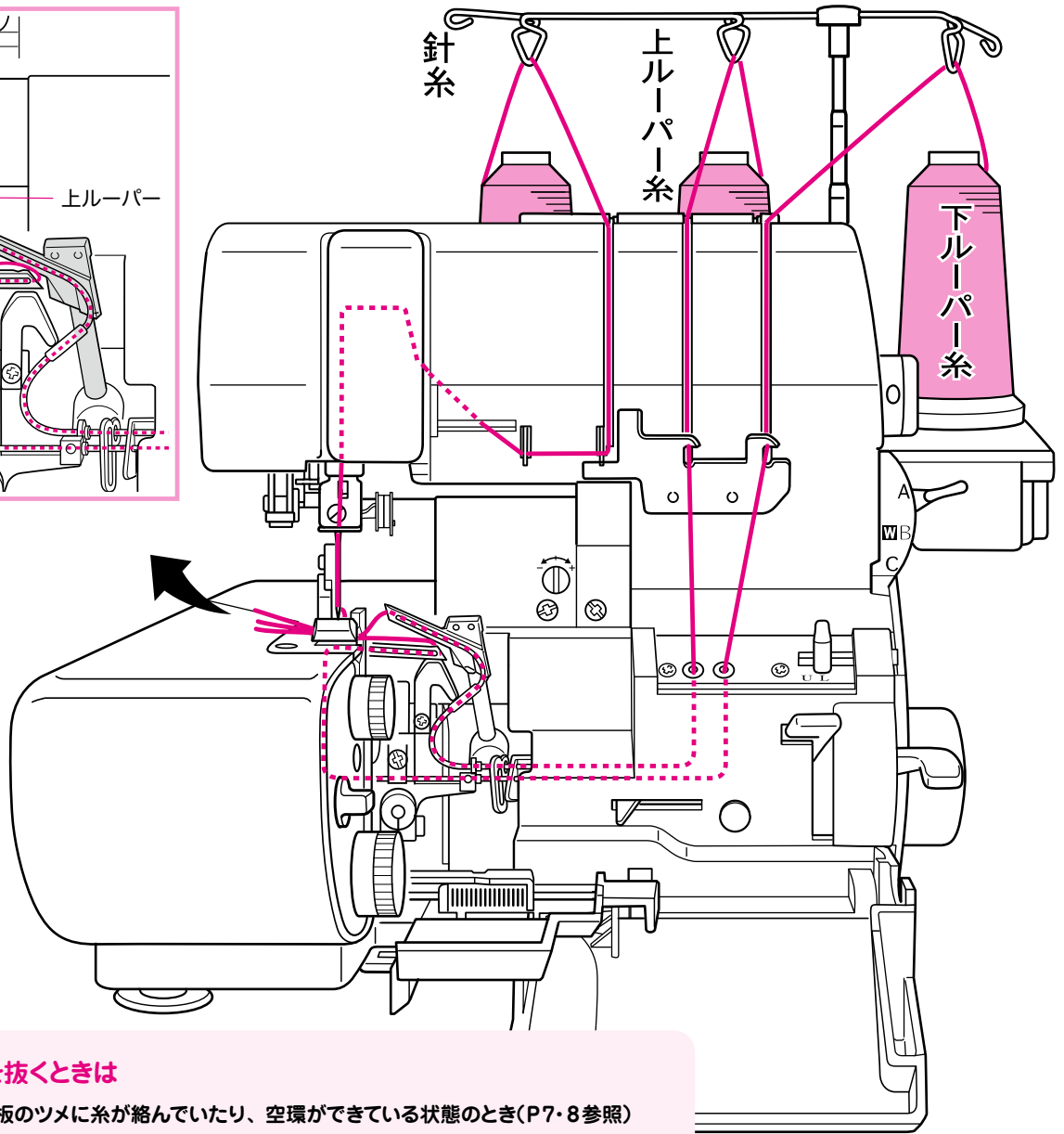
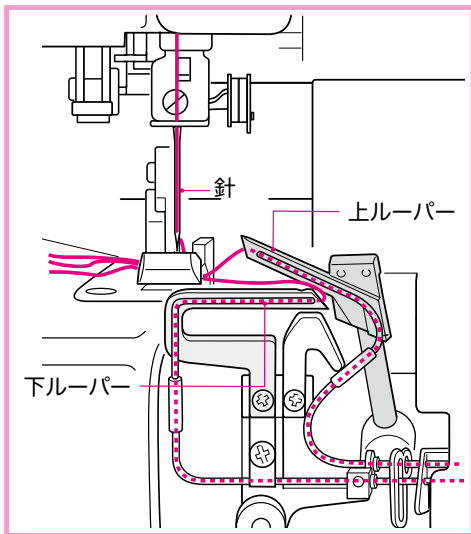
8 糸かけ

- ◆上/下ルーパー糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(右ページ参照)
- ◆ラクスルー(自動針糸通し)を使って、針穴に糸を通す場合は必ず「はずみ車の緑の指針を合わせて」ください。(P17参照)

糸かけ全体図

オーバーロックも巻きウェーブロックも糸のかけ方は同じです。
どの糸からかけてもかまいません。
糸が切れた場合は、その切れた糸だけをかけ直してください。

※糸かけをするときはまず押え金を上げます。
糸をかけ終わったら押え金を下げることが忘れないで。



注意 ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

糸を抜くときは

■針板のツメに糸が絡んでいたたり、空環ができていない状態のとき(P7・8参照)

① 押え金を上げ、抜きたい糸だけを下記のようにして切る

針糸：針の近くで切る

ルーパー糸：糸通し穴の手前で、少し糸をたるませて切る

② 押え金の後ろから、絡んだ糸または空環を引いて抜く

☑必ず押え金の後ろから糸を引いてください。ルーパー側から引くと、糸がパイプに詰まるなどトラブルの原因になります。

■糸の絡まりや空環が無い(糸を糸道にかけただけの状態)のとき

① 押え金を上げ、抜きたい糸だけを引き抜く

ルーパーの糸かけをするときは**エアスルーシステム(自動エア糸通し)**を使います。
エアスルーシステムは、まず下記の「**はずみ車の固定**」を行ってください。

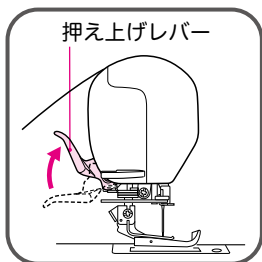


また、糸かけが終わったら忘れずに「**固定の解除**」を行ってください。

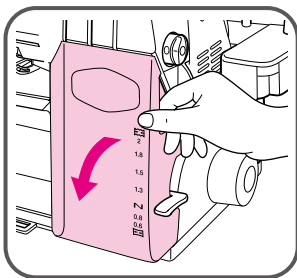
ルーパーの糸かけの前に

はずみ車の固定

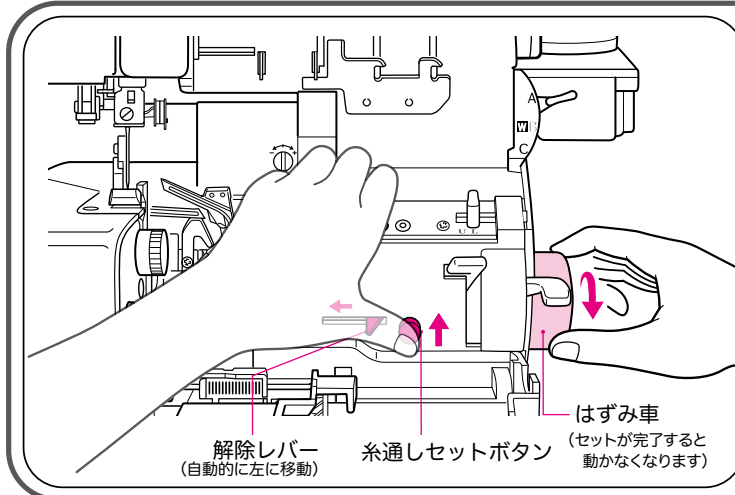
- 1** 押え上げレバーで
押え金を上げる。



- 2** フロントカバーを
開ける。



- 3** 糸通しセットボタンを押しながら、カチッと音がするまで、はずみ車を回す。

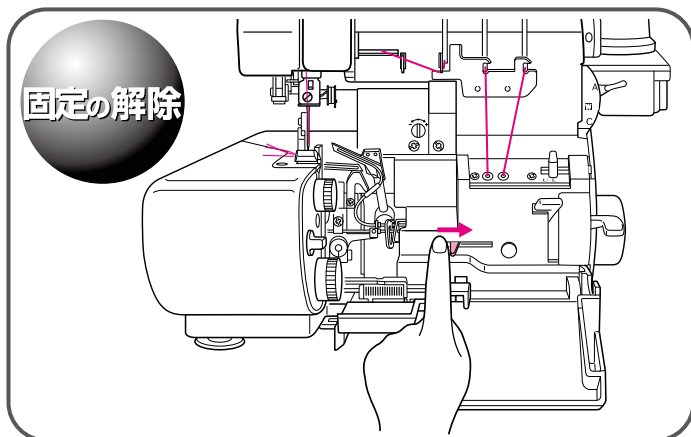


セットが完了すると、**はずみ車が回らなくなり**、解除レバーが左へ自動的に移動します。
移動しない場合は、もう一度糸通しセットボタンを**もっと強く**押しながら**はずみ車**を回してください。

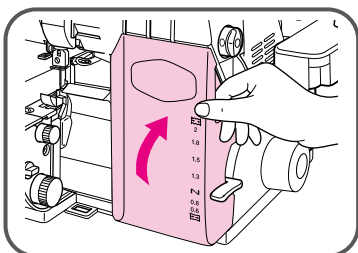
P 15・16 にしたがって糸をかける

ルーパーの糸かけが終わったら

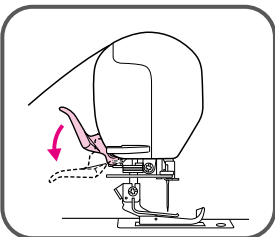
- 1** 解除レバーを右にスライドさせる。



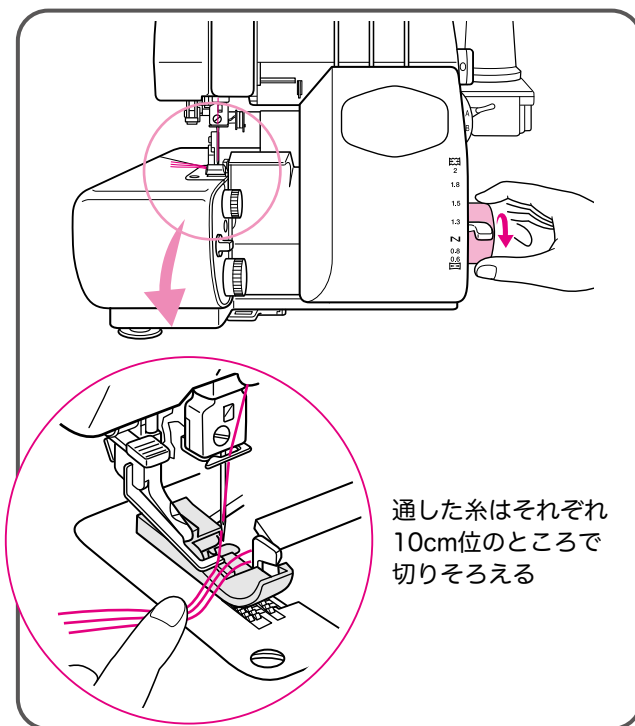
- 2** フロントカバーを閉める。



- 3** 押え上げレバーで
押え金を下げる。



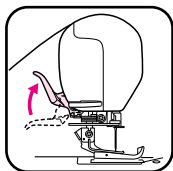
- 4** 最後に3本の糸を軽く押え、はずみ車を数回まわして、空環がうまくできるか確認する。



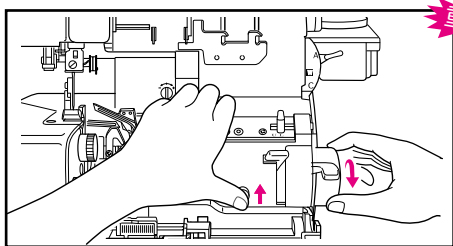
通した糸はそれぞれ
10cm位のところで
切りそろえる

下ルーパー糸

1 押え金を上げる。



2 「はずみ車の固定」をする。(P14参照)



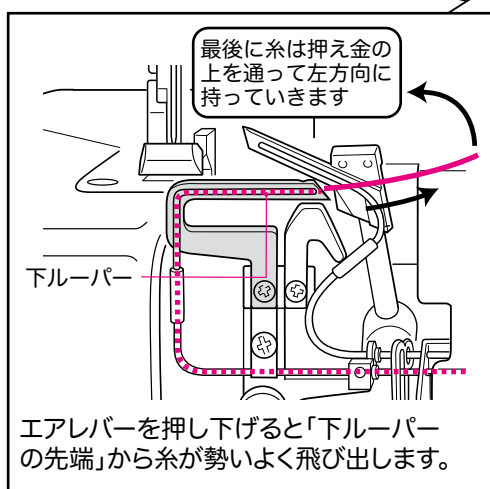
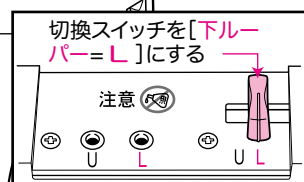
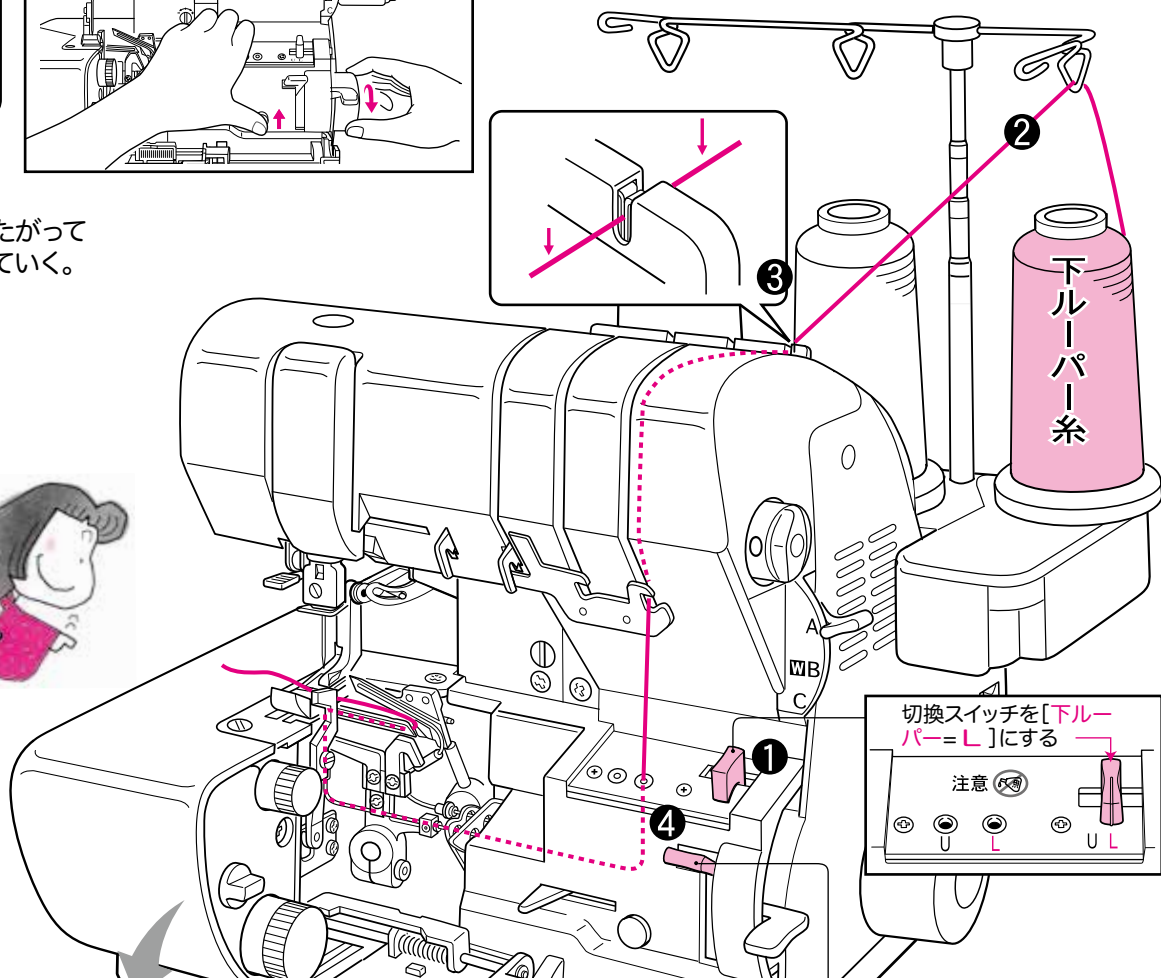
重要

3 番号にしたがって糸をかけていく。

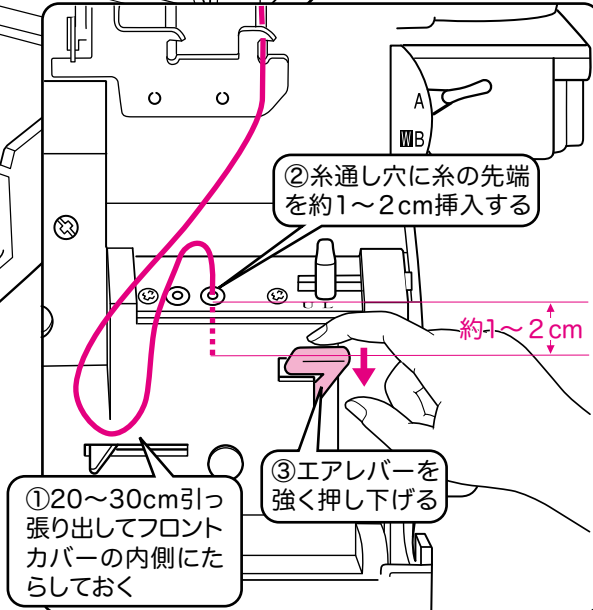


ワンポイント

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。



糸を抜くときは (P13 参照)

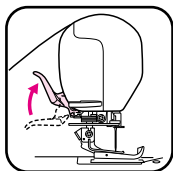


3 「固定の解除」 (P14) をしてから縫い始める **重要**

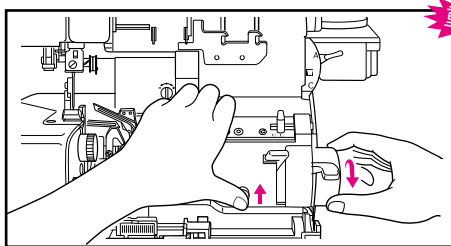
上ルーパー糸



1 押え金を上げる。



2 「はずみ車の固定」をする。(P14参照)

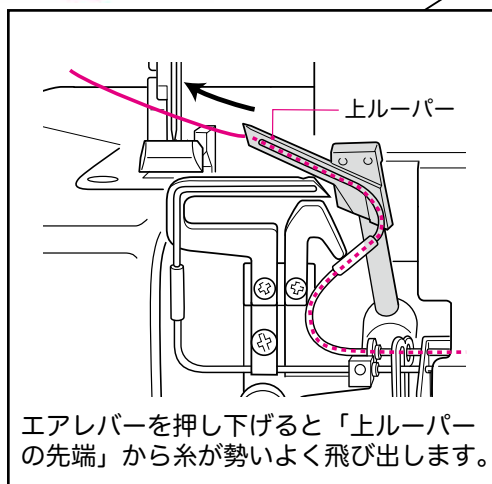


重要

3 番号にしたがって糸をかけていく。

ワンポイント

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。

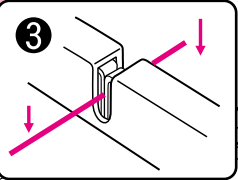
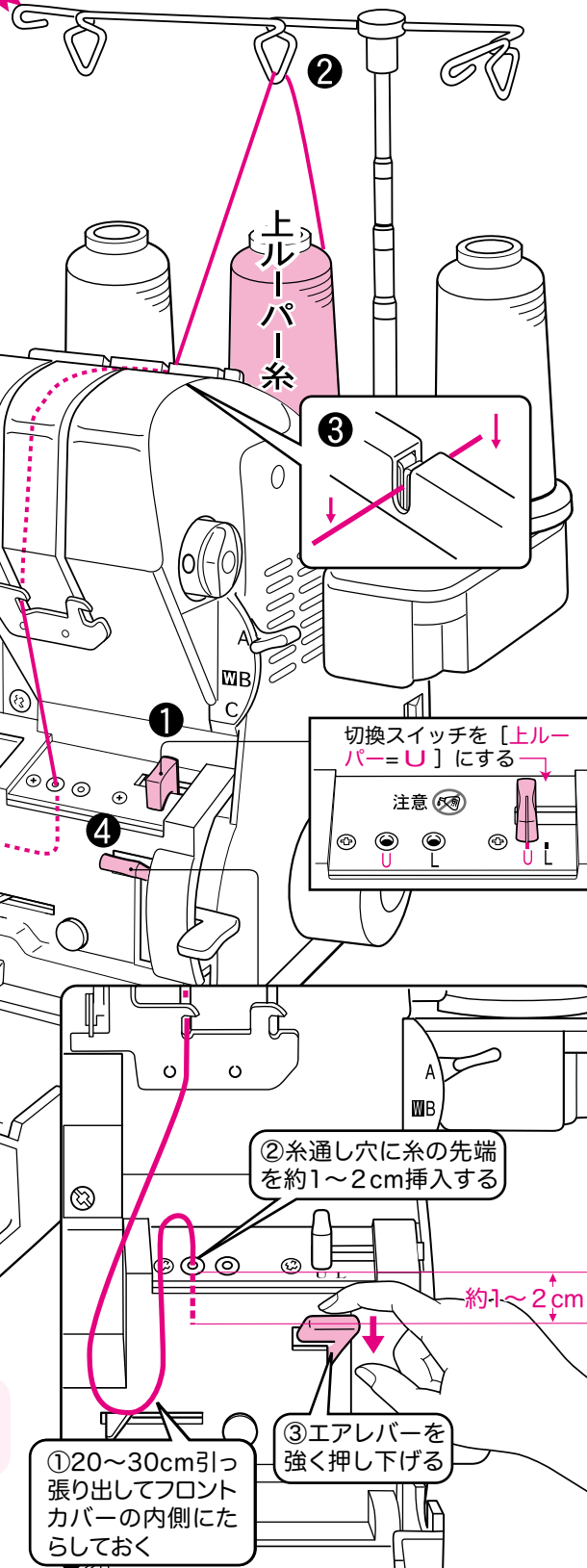


エアレバーを押し下げると「上ルーパーの先端」から糸が勢いよく飛び出します。

糸を抜くときは (P13参照)

重要

3 「固定の解除」(P14) をしてから縫い始める



切換スイッチを「上ルーパー=U」にする

注意

②糸通し穴に糸の先端を約1~2cm挿入する

約1~2cm

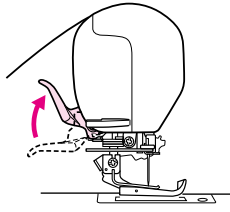
①20~30cm引っ張り出してフロントカバーの内側にたらししておく

③エアレバーを強く押し下げる

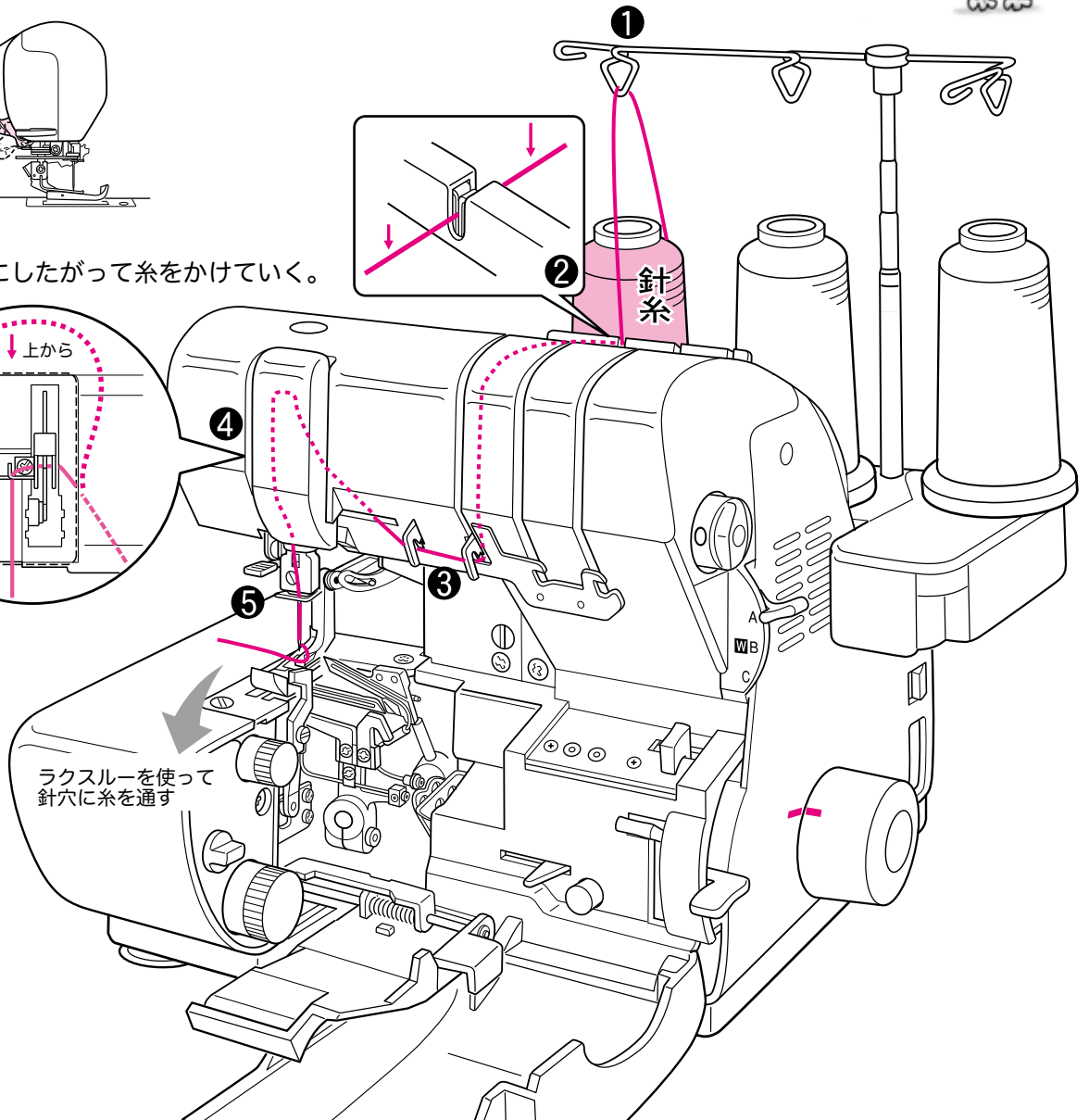
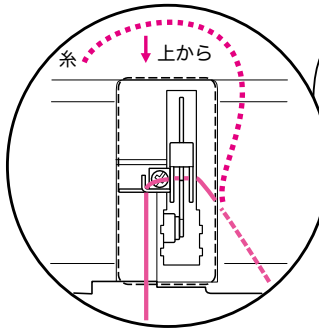
針糸



1 押え金を上げます。



2 番号にしたがって糸をかけていく。

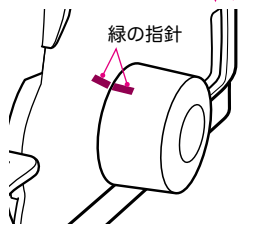


ラクスルーを使って
針穴に糸を通す

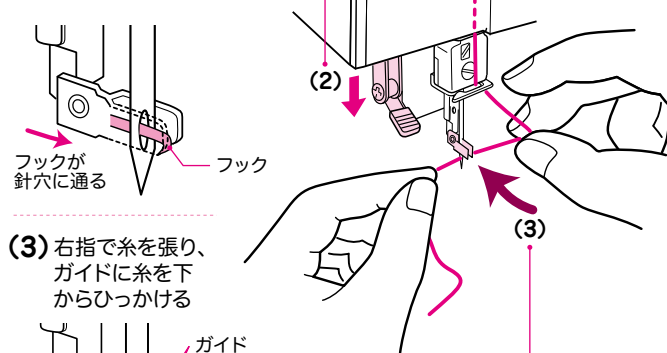
ラクスルー (自動針糸通し)の 使い方

(1) はずみ車の緑の指針
を合わせる。

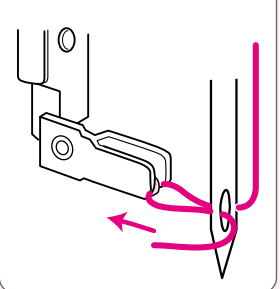
重要



(2) 糸通しレバーを下げる



(4) 糸通しレバーをゆっ
くり戻すとフックが
糸をひっかけて針穴
に通します



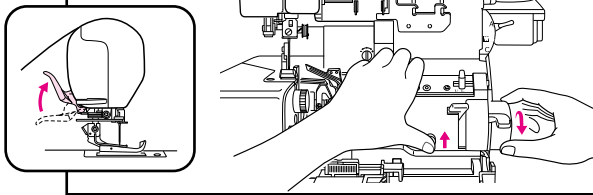
注 「緑の指針」を合わせていない状態では糸通しレバーを絶対に動かさないでください。

太い糸のかけ方

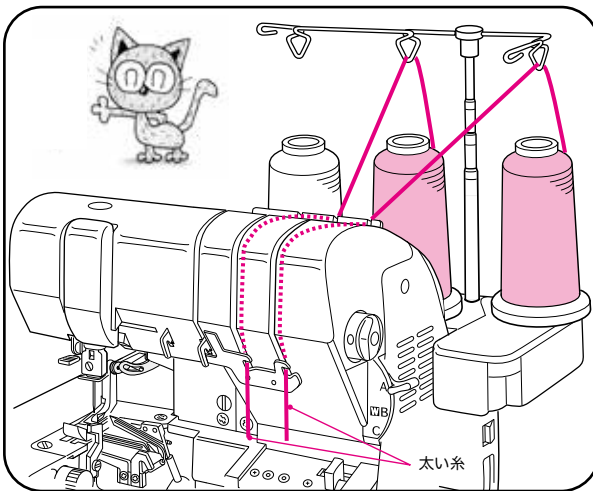
上・下ルーパー糸に、飾り糸として使われるような太い糸を使用したい場合は、エアスルーシステム(自動エア糸通し)のパイプに入らない場合があります。そのような時は下記のようにして糸を通してください。

【エアスルーパイプを通さない糸のかけ方】

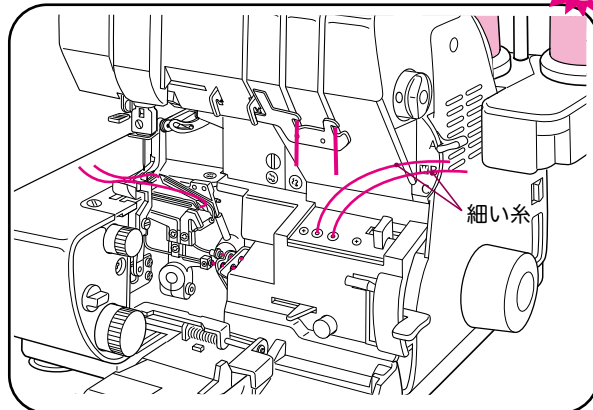
1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P14参照)



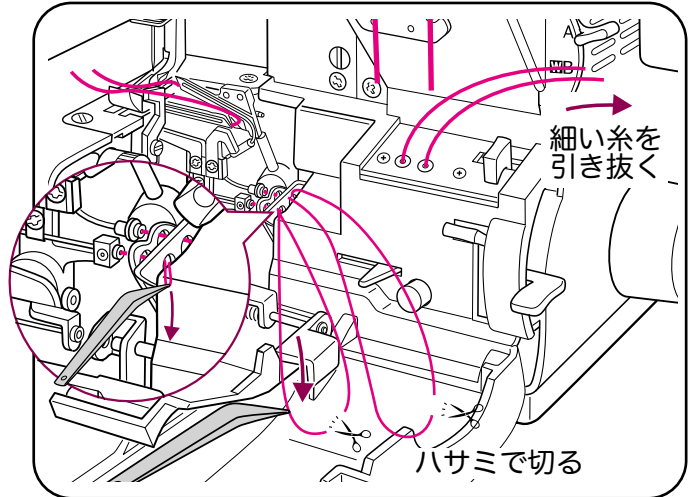
2 糸通し穴の手前まで、太い糸を通しておく。(P15、16参照)



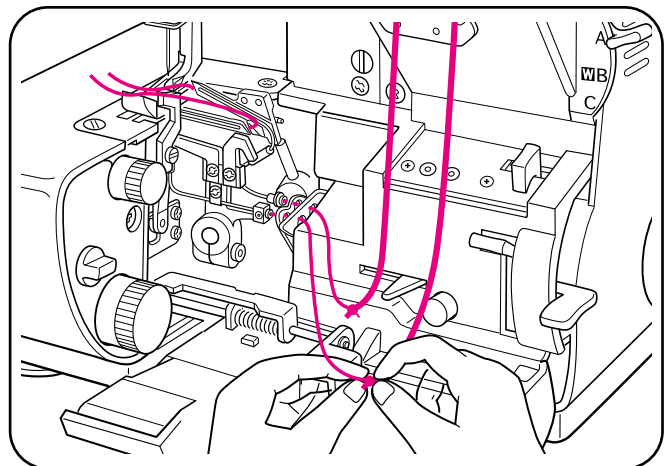
3 エアスルーを使って、まず細い糸を通したあと(P15、16参照)、「固定の解除」を行う。(P14参照)



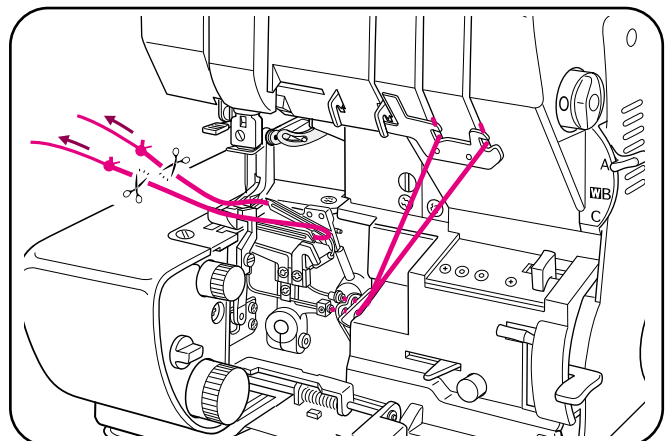
4 ピンセットで糸を引き出して切る。



5 太い糸と細い糸を結ぶ。



6 結び目を引き出して切る。



9 オーバーロック・巻きロックの切換え

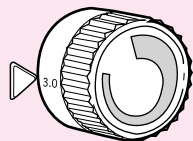
このミシンは A. 1本針3本糸オーバーロック、B. 標準巻きロック、C. 変形巻きロックの3種類の基本縫いを、面倒な調節なしで簡単に切り換えることができます。

1 糸をかける (P13~18参照)

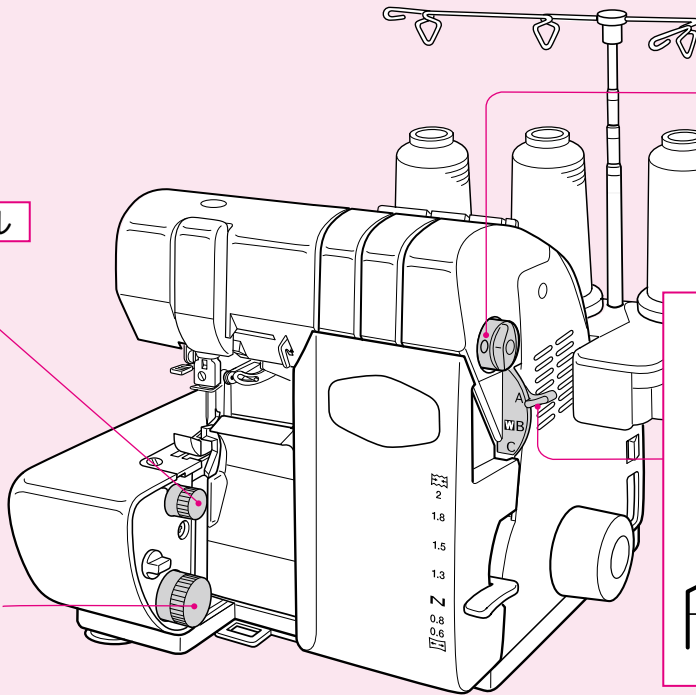
2 オーバーロック/巻きウェーブロック切換ツマミ **重要**



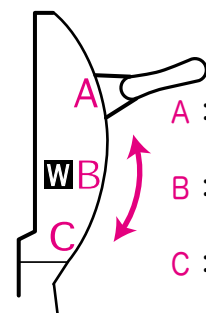
5 かがり幅ダイヤル



4 送り目ダイヤル



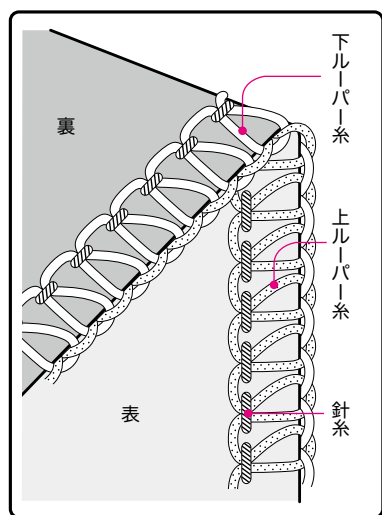
3 縫い目切換ダイヤル



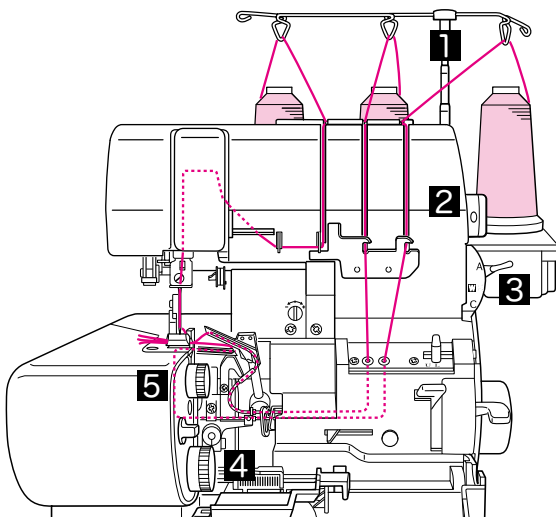
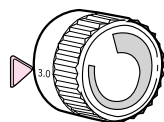
- A: 1本針3本糸ロック
- B: 標準巻きロック
- C: 変形巻きロック

オーバーロック・巻きロックの切換え

A 1本針3本糸オーバーロック



5 「かがり幅ダイヤル」を合わせる。 (生地の種類や好みによって)



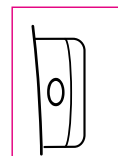
4 「送り目ダイヤル」を【普通ロック】の数字0.75~4に合わせる。 (生地の種類や好みによって)

※ の印は0.75

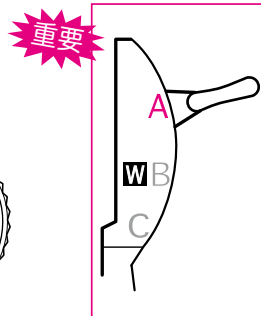


1 3本の糸をかける (P13~18参照)。

2 「オーバー/巻きウェーブ切換ツマミ」をOに合わせる。



3 「縫い目切換ダイヤル」をAに合わせる。



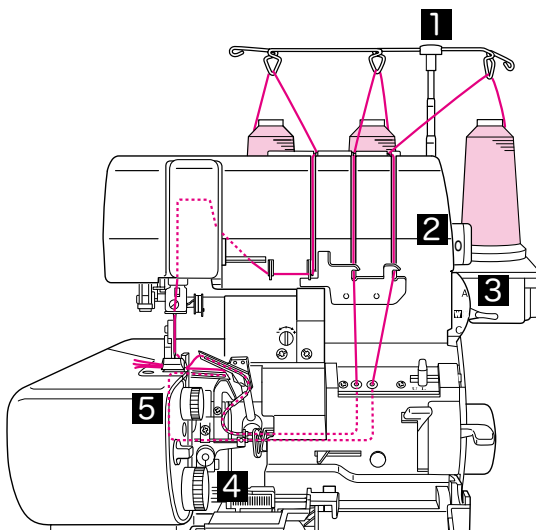
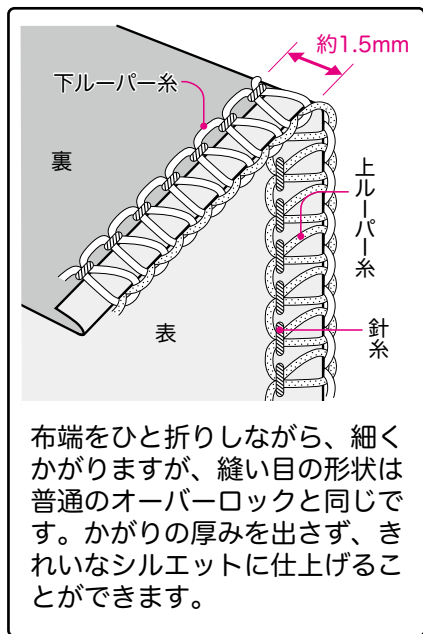
巻きロック

このミシンは、布端をひと折りしながら細くかがっていく【巻きロック】で縫うことができます。巻きロックには、「標準巻きロック」と「変形巻きロック」があります。オーガンジーやジョーゼットなどの薄地の装飾的なかがり縫いに最適です。



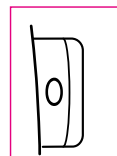
オーバーロック・巻きロックの切換え

B 標準巻きロック

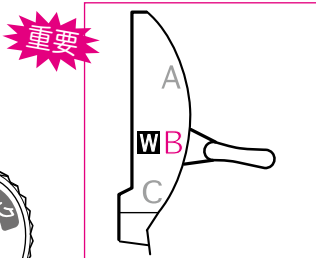


1 3本の糸をかける (P13~18参照)。

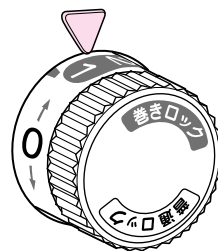
2 「オーバー／巻きウェーブ切換ツマミ」を **O** に合わせる。



3 「縫い目切換ダイヤル」を **B** に合わせる。

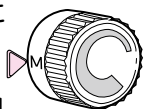


4 「送り目ダイヤル」を【巻きロック】の数字 **0.75~4** に合わせる。
(生地の種類や好みによって)



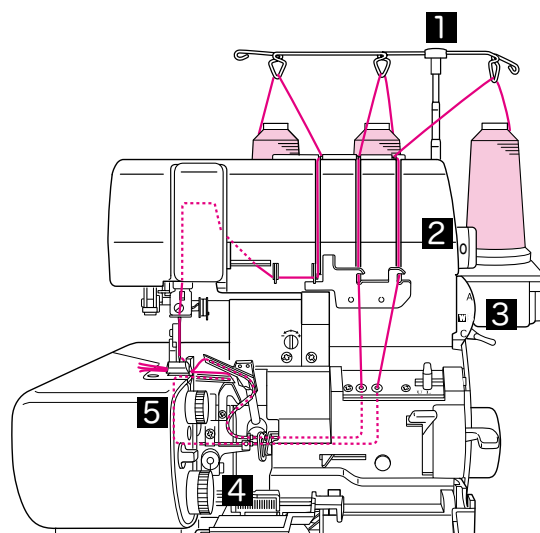
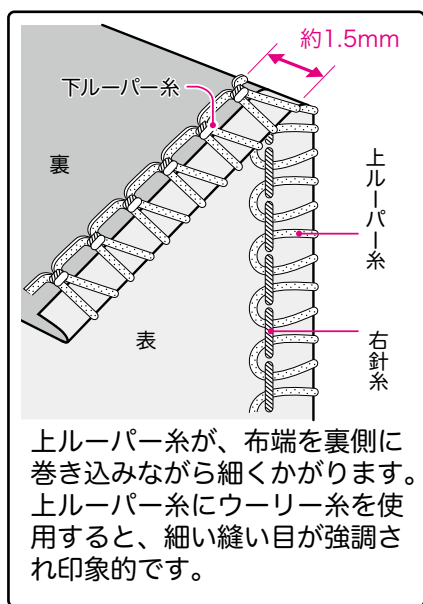
5 「かがり幅ダイヤル」を **M** に合わせる。

【Mは標準値です。生地の種類や好みによって調節してください】



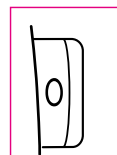
※ **■** の印は0.75

C 変形巻きロック

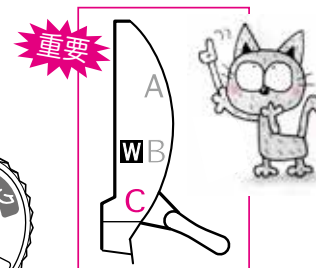


1 3本の糸をかける (P13~18参照)。

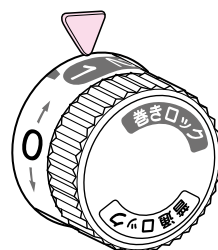
2 「オーバー／巻きウェーブ切換ツマミ」を **O** に合わせる。



3 「縫い目切換ダイヤル」を **C** に合わせる。

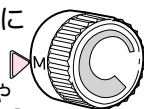


4 「送り目ダイヤル」を【巻きロック】の数字 **0.75~4** に合わせる。
(生地の種類や好みによって)



5 「かがり幅ダイヤル」を **M** に合わせる。

【Mは標準値です。生地の種類や好みによって調節してください】



※ **■** の印は0.75

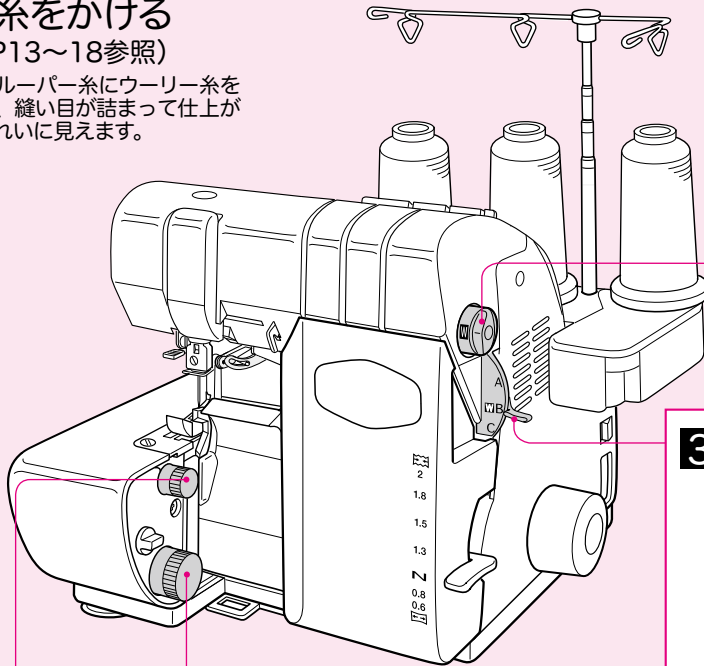
10 巻きウェーブブロックへの切換え

このミシンは縫い目が波状模様になる巻きウェーブブロック縫いができます。
 巻きウェーブブロックへの切換えは、「オーバーロック/巻きウェーブブロック切換えツマミ」を **W** にし、縫い目切換えダイヤルを **WB** 巻きウェーブブロックにします。
 糸のかけ方や、かがり幅・送り目の変更の方法はオーバーロックと同じです。

1 糸をかける

(P13~18参照)

※上下ルーパー糸にウーリー糸を使うと、縫い目が詰まって仕上がりがきれいに見えます。



2

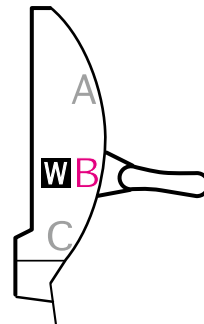
オーバーロック/巻きウェーブブロック切換えツマミ



重要

Wに
あわせる

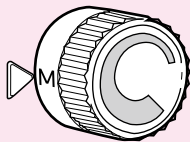
3 縫い目切換えダイヤル



WB:巻きウェーブブロック

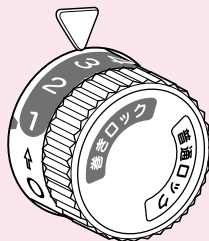
5

かがり幅ダイヤル



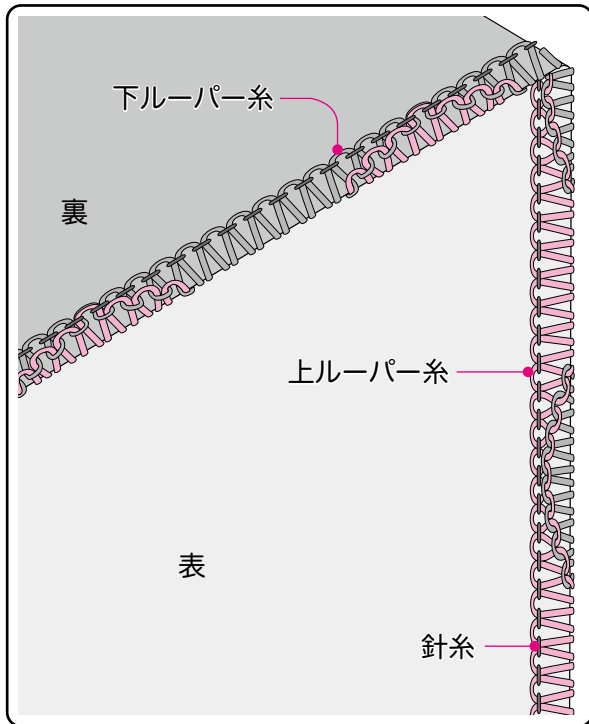
4

送り目ダイヤル



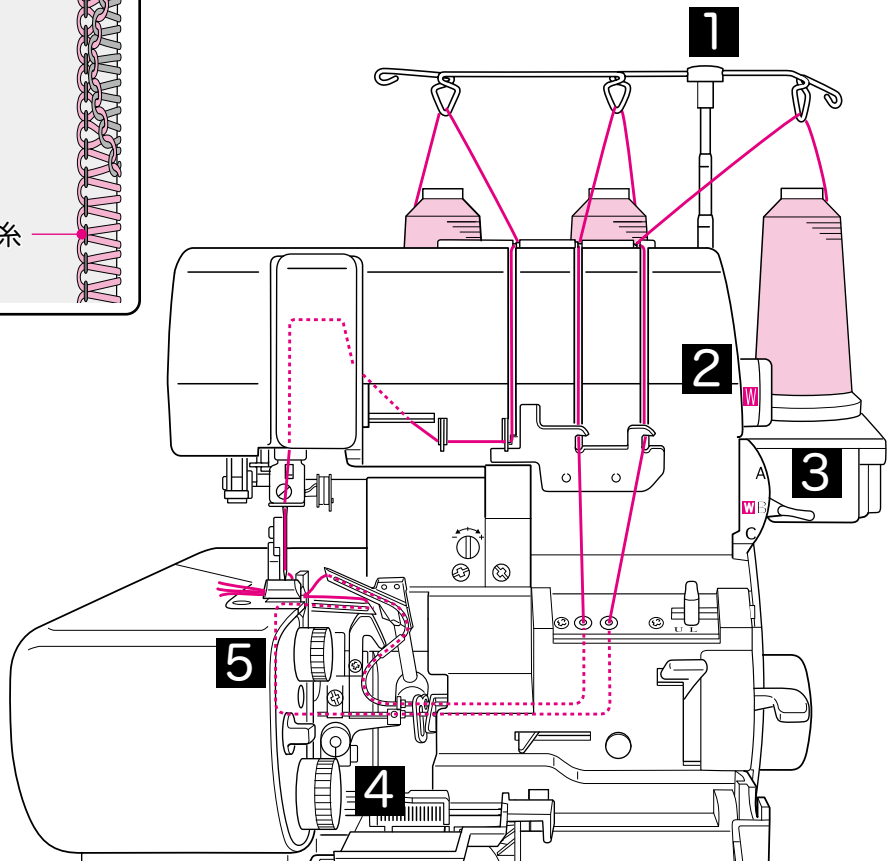


WB 巻きウェーブロック



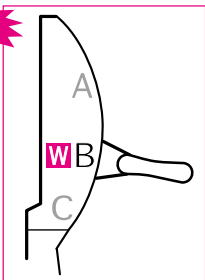
1 3本の糸をかける
(P13~18参照)。

2 「オーバー／巻きウェーブ
切換ツマミ」を **W** に
合わせる。



3 「縫い目切換ダイヤル」
を **WB** に合わせる。

重要



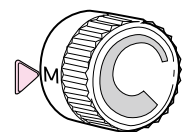
4 「送り目ダイヤル」を【巻き
ロック】の数字 **0.75~4** に
合わせる。
(生地の種類や好みによって)

※ **■** の印は0.75



5 「かがり幅ダイヤル」を
M に合わせる。

【Mは標準値です。生地の種類や
好みによって調節してください】



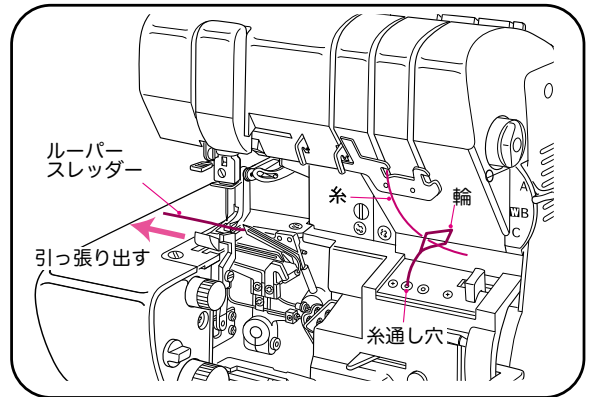
11 メンテナンス

ルーパースレッダーの使い方

付属の『ルーパースレッダー』は“エアスルーシステム”のパイプの掃除具として、また「糸通し穴」に特に入りにくい糸を通す糸通し具として、使用すると便利です。



ルーパースレッダー



① 掃除具として

まず「はずみ車」の固定(P14参照)をします。次に「糸通し穴」から『ルーパースレッダー』(P3参照)を差し込み、ルーパースの先端から出てきたら引っ張り出します。この作業を数回繰り返すと、パイプにたまった糸クズが取れます。

② 糸通し具として

『ルーパースレッダー』の輪に、通したい糸を数cm入れ、①と同様に「糸通し穴」に差し込んで、ルーパースの先端から引っ張り出します。

針の交換

針は消耗品です。針先が曲がったり、磨耗していると糸切れや目飛びの原因になります。早めに交換してください。

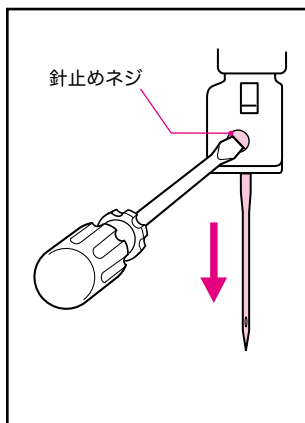
このミシンの針は必ず **オルガンHA×1SP** をご使用ください。

この針以外は使用できません。

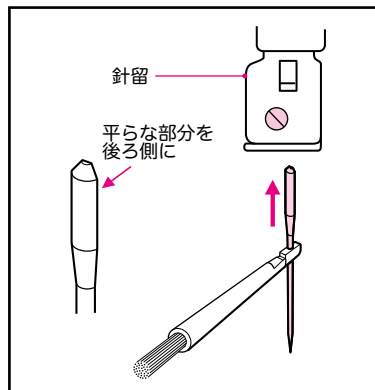
推奨する針の太さ…薄地～中厚地：#11 中厚地～厚地：#14 ※針は数字が大きくなるほど太くなります。

1 はずみ車を回して、針を一番上まで上げます。

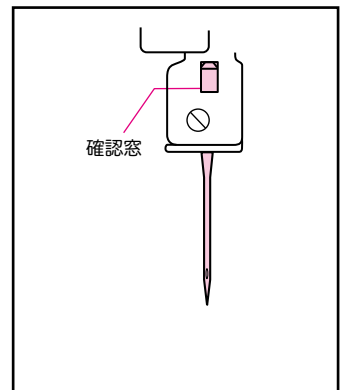
2 付属のドライバーで針止めネジをゆるめて、針をはずす。



3 新しい針を付属の掃除用ブラシに差し込み「針頭部の平らな面」が後ろ向きになるようにして、針留の穴の奥まで差し込む。



4 確認窓で針が一番奥まで差し込まれていることを確認してから、針止めネジをしめる。

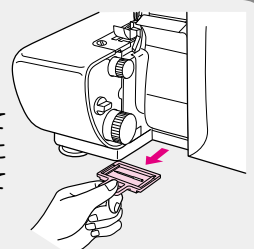


注意 ケガをする恐れがあります。

ルーパースレッダーを使用する場合や、針の交換をする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

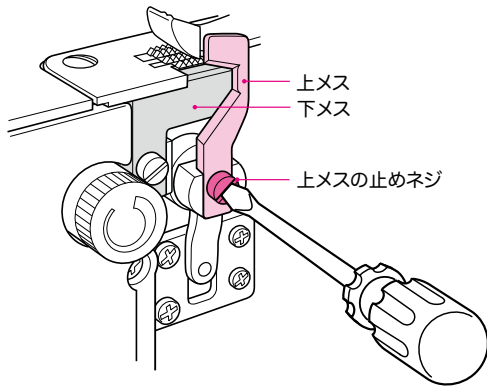
ワンポイント

針をメスカバーの奥に落とした場合は、ミシン底部にある取り出し口から取り出してください。



メスの交換

メスは消耗品です。メスが切れなくなった場合は、通常「上メス」を交換してください。



- 1 フロントカバーとメスカバーを開く。
- 2 はずみ車を回して、上メスを最も下に降りた地点で止める。(最下点)
- 3 上メスの止めネジをゆるめて、上メスをはずす。
- 4 新しい上メスを取り付け、下メスに対して、上メスの刃先が1mm程度沈み込んだ位置で上メス止めネジをしめる。



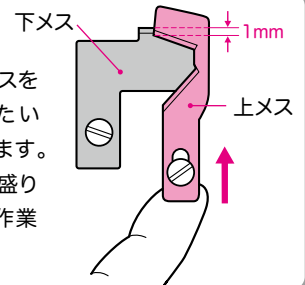
ケガをする恐れがあります。

メスの交換をする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

- ※その他の部品をはずしたり、ネジをゆるめたりしないでください。
- ※メスは安全上、強くしめています。ゆるめるときは、止めネジのサイズにあったにぎりの大きなドライバーを使用して下さい。
- ※安全上、止めネジは強くしめて下さい。

ワンポイント

上メスを最下点にして指先で上メスを下から押し上げた位置がほしい1mm程度沈み込んだ位置になります。このとき、「かがり幅ダイヤル」の目盛りを最小位置にしておくことで取り付け作業が容易に行えます。



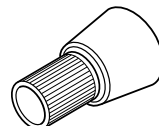
掃除と注油について

このミシンは特殊な材質を使用しているため油を注す必要はありませんが、切りながら縫うことが多いため切りクズがたまりやすくなります。掃除機を使って埃を吸い取るか、付属の掃除用ブラシを使って払ってください。また、音が高くなったりした場合は駆動部（動いている部分）に1~2滴、ミシン油を注してみてください。
注 エアスルーシステムのパイプ穴部分には絶対に油を入れないでください。

照明ライトの交換

■照明ライト■
100V15Wミシン球
※ミシン販売店および電器店にてお買い求めください。

照明ライトの交換は、別売りの「照明ライト交換具」を販売店でご購入いただき下記のように行ってください。



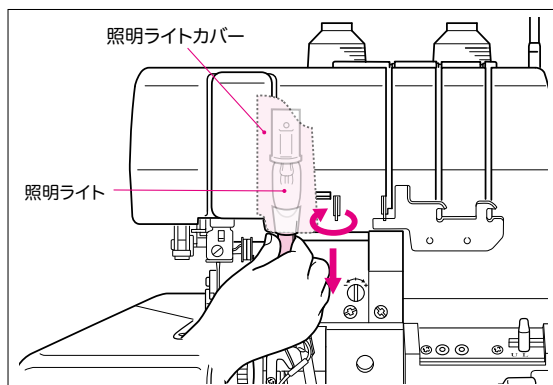
照明ライト交換具(別売り)



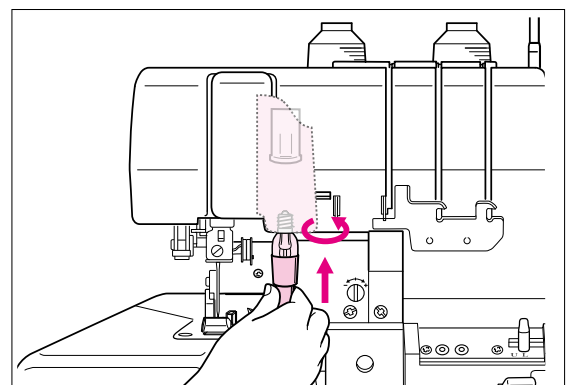
ケガをする恐れがあります。

照明ライトの交換をする場合は、必ず電源を切ってください。通電したままだと感電したり、ミシンが急に動くなど危険です。

- 1 別売りの「照明ライト交換具」を右図のように照明ライトの付いているあたりに差し込み、回しながら照明ライトをはずす。



- 2 新しい照明ライトを「照明ライト交換具」に差し、ミシン本体に回して取り付ける。

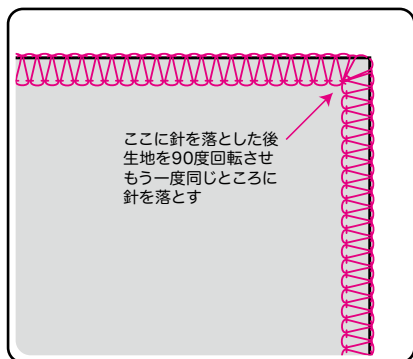


その他

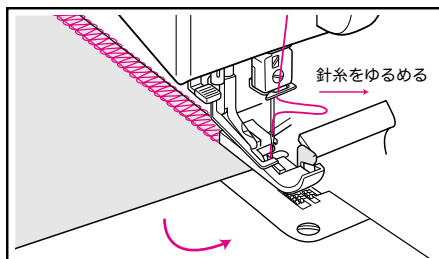
ミシンは半年に一度、理想的には3ヶ月に一度は動かしてください。動かさないまましていると不具合の原因になります。

12 基本的な縫いテクニック

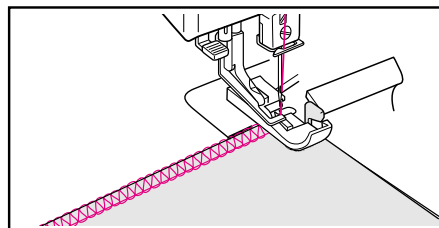
外角を縫う時のポイント



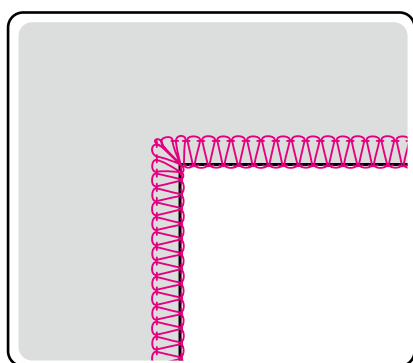
1 角まで来たら押え金と針を上へ上げ、針糸をゆるめる。



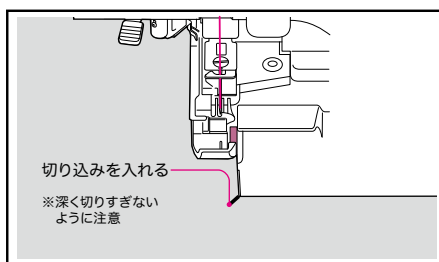
2 生地を90度回転させて、ゆるめた針糸を元に戻して押え金を下げてから縫い始める。



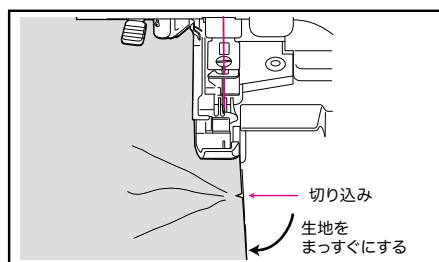
内角を縫う時のポイント



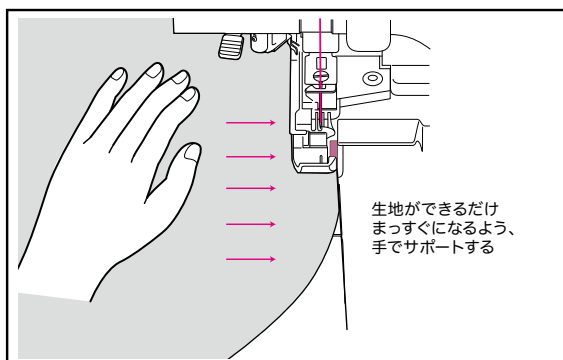
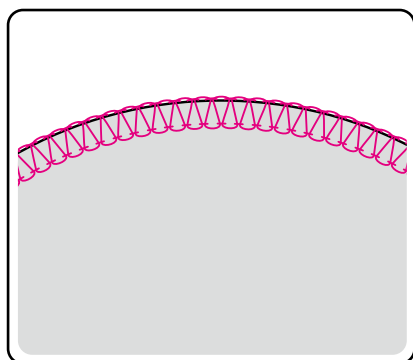
1 最初に内角部分に2~3mmの切り込みを入れておく。



2 角の手前まで来たら生地を開いてまっすぐにしてから縫う。



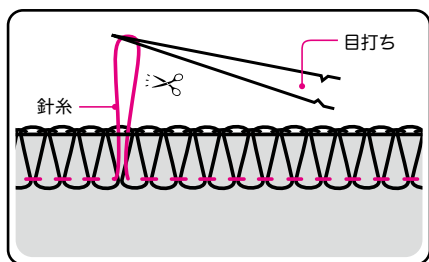
カーブを縫う時のポイント



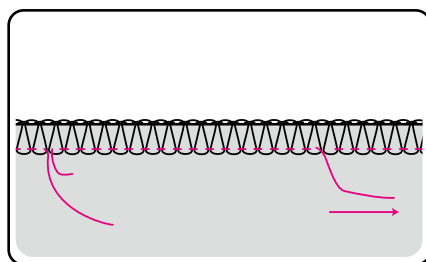
メス位置から針落ち位置までの間、生地がまっすぐになるように、手で生地を右側にサポートしながら縫う。メスを固定して、メスをガイドにして縫うと縫いやすい。また、バイヤスの場合はかがり幅を広くすることも効果的。

縫い目のほどこき方

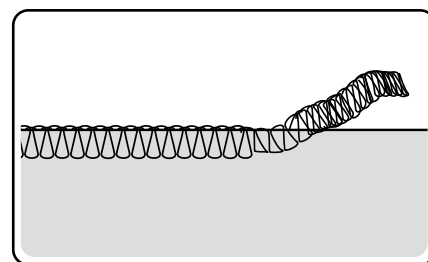
1 針糸を数力所、目打ちなどを使って引き出し切る。



2 針糸を引っ張って取り除く。



3 針糸が取れるとルーペ糸は簡単に生地からはずれる。



13 修理を依頼される前に

ミシンが動かない等の異常がありましたら、修理を依頼される前に下記のことをご確認ください。

状 況	確認内容	参照ページ
ミシンが動かない！	<input type="checkbox"/> 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。……………	5
	<input type="checkbox"/> 電源（照明ライト）スイッチが [I] になっていますか。……………	5
	<input type="checkbox"/> はずみ車の「 固定の解除 」がされていますか。……………	14
まったく縫えない！	<input type="checkbox"/> 押え金下がっていますか。……………	14
オーバーロックがうまく縫えない！	<input type="checkbox"/> オーバー／巻きウェーブ切替ツマミが [O] になっていますか。……………	19
	<input type="checkbox"/> 縫い目切替ダイヤルが [A] になっていますか。……………	19
	<input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが [普通ロック] 側の数字になっていますか。……………	19
	<input type="checkbox"/> 差動レバーの位置は適切ですか。……………	11
巻きロックがうまく縫えない！	<input type="checkbox"/> オーバー／巻きウェーブ切替ツマミが [O] になっていますか。……………	19・20
	<input type="checkbox"/> 縫い目切替ダイヤルが [B] または [C] になっていますか。……………	20
	<input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが [巻きロック] 側の数字になっていますか。……………	20
	<input type="checkbox"/> かがり幅ダイヤルが [M] になっていますか。……………	20
巻きウェーブロックがうまく縫えない！	<input type="checkbox"/> オーバー／巻きウェーブ切替ツマミが [W] になっていますか。……………	21・22
	<input type="checkbox"/> 縫い目切替ダイヤルが [WB] 巻きウェーブロック になっていますか。……………	21・22
	<input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが 巻きロック 側になっていますか。……………	21・22
目とび、糸切れがする！	<input type="checkbox"/> 針は指定の [オルガンHA×1SP] がついていますか。……………	23
	<input type="checkbox"/> 針は針留の穴の一番奥まで入っていますか。……………	23
	<input type="checkbox"/> 曲がったり、針先が磨耗している針がついていませんか。……………	23
	<input type="checkbox"/> 糸かけが間違っていないですか。……………	13～18
	<input type="checkbox"/> 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。……………	13～18
	<input type="checkbox"/> 古い糸を使用していませんか。……………	6
メスが布地を切らない！	<input type="checkbox"/> メス固定ツマミが [LOCK (固定)] になっていませんか。……………	10
	<input type="checkbox"/> 上メスが磨耗していませんか。……………	24
エアレバーを押しても糸が通らない！	<input type="checkbox"/> 「 はずみ車の固定 」がされていますか。……………	14
	<input type="checkbox"/> ルーパー糸通し上下切替スイッチの位置は正しいですか。……………	15・16
	<input type="checkbox"/> 糸通し穴に糸が1～2cm位挿入されていますか。……………	15・16
	<input type="checkbox"/> 糸通し穴の手前で糸を20～30cmほどたるませていますか。……………	15・16
	<input type="checkbox"/> 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。……………	15～18
<input type="checkbox"/> パイプの中にゴミがたまっていませんか。……………	23	
ラクスルー（自動針糸通し）で糸が針穴に通らない！	<input type="checkbox"/> はずみ車の緑の指針が合っていますか。……………	17

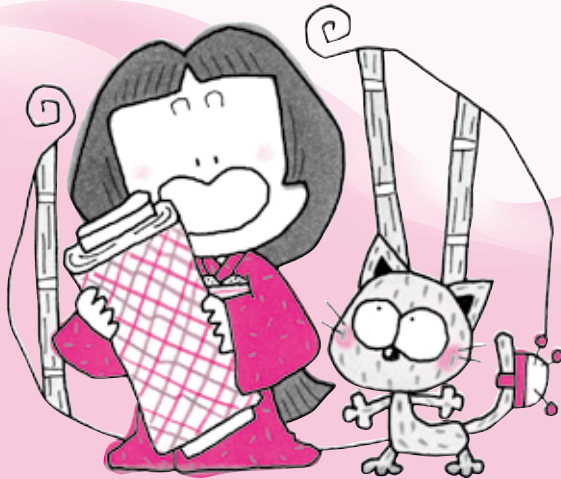
アフターサービスについては、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

修理を依頼される前に

TECHNICAL DATA

- 縫い形式：1本針3本糸オーバーロック
1本針3本糸巻きウェーブロック
- かがり幅：1本針3本糸ロック3.0～5.0mm
巻きロック 1.5mm
- 送り目(縫い目の長さ)：0.75～4.0mm
- 差 動 比：0.6～2.0
(伸ばし・縮みの比率)
- メス上下量：6.5mm
- 押え上がり量：5mm
- 送り歯高さ：0.7mm
- 縫い速度：毎分1,500針
- 使用針：オルガンHA×1SP(#11,#14)
- 使用糸本数：3本
- 消費電力：105W(照明ライト含む)
- 照明ライト：100V 15W
- ミシンの大きさ：奥行280×幅340×高さ290mm
- ミシンの重さ：7.8kg

仕様の一部を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。



製品ユーザー登録はこちらから

www.babylock.co.jp/user

ベビーロックをもっと活用していただくための
コンテンツや特典をご提供しています。



最新情報や作品づくりのアイデアはホームページとSNSをチェック!

[facebook.com/babylockjapan](https://www.facebook.com/babylockjapan) [babylock_sewing](https://www.instagram.com/babylock_sewing)

株式会社ベビーロック www.babylock.co.jp

本社：〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL03(3265)2851(代表)

支店：東京 03(5825)9020 名古屋 052(917)3671 大阪 06(6967)3300 福岡 0942(44)7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ

お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年	月	日
販売店名			
	TEL		

修理やアフターサービス等でミシンを送付する必要がある場合があります。そのため、梱包箱は捨てないで保管されることをお勧めします。